

KENWOOD

TS-890 シリーズ

PCコマンド集

株式会社 JVCケンウッド

2019年01月30日

コマンドの送りかた

PCにコマンドを送ってTS-890シリーズの無線機をコントロールするには下記の方法があります。

- Visual C#またはVisual Basicなどの言語でプログラミングする。
- 通信ソフトを利用する。

シリアルポートまたはTCP/IPを操作できる一般的な通信ソフトを、「データ通信の仕様」に合わせてお使いください。

PCとの接続方法

TS-890をRS-232Cケーブルを使用してPC COMポートへ、またはUSB 2.0 (AB型) ケーブルを使用して、USBポートに接続します。またはLANケーブルを使用して、LANポートに接続します。

COMポートまたはUSB接続する場合はTS-890のメニューでPCと無線機間の通信のボーレートを選択します

RS-232Cストレートケーブルで接続する場合

TS-890の<COM>端子とPCの<COM>端子をRS-232Cストレートケーブルで接続します。

USBケーブルで接続する場合

あらかじめ、PCに仮想COMポートドライバをインストールしてください。

仮想COMポートドライバは下記のURLからダウンロードできます。

https://www.kenwood.com/jp/faq/com/ts_890/

TS-890の<USB-B>端子とPCの<USB-A>端子をUSB2.0ケーブル (AB型) で接続します

注意: USBハブを介して接続した場合は動作保障できません。

LANケーブルで接続する場合

HUBを経由してTS-890とPCを接続する場合は、ストレートケーブルで接続します。

TS-890とPCを直接接続する場合は、クロスケーブルで接続します。

LANを使った通信の開始手順

- 1 無線機のLANメニューで、各種IPアドレスの設定および、管理者ID、管理者パスワードを設定します。
- 2 PCでTCP/IPの設定をおこないます。
- 3 PCから無線機に接続要求のための##CNコマンドを送ります。
- 4 無線機から接続許可応答が来たら、##IDコマンドで管理者IDと管理者パスワードを送信します。
- 5 管理者IDと管理者パスワードが無線機側で設定されているものと一致していれば認証され、接続は完了します。

※ 10秒間以上通信がないと、無線機からTCP/IP接続が切断されます。

COMコネクタ／USB-B (仮想COM) コネクタ

項目	仕様
プロトコル	UART (RS-232C)
ボーレート	4800* / 9600 / 19200 / 38400 / 57600 / 115200 bpsから選択可能
スタートビット	1
データビット	8
ストップビット	1 (ただし4800 bps選択時のみ2)
パリティビット	無し
フロー制御	ハードウェアフロー制御が可能

*: USB-Bコネクタでは4800 bpsは使用できません。

LANコネクタ

項目	仕様
プロトコル	TCP/IP
文字エンコード方式	UTF-8

文字コード

文字コードはASCIIコードに準拠します。ただし、80h~FFhに割り当てる文字は、メニュー9-01「Keyboard Language」により下記のように切り替わります。

メニュー9-01の設定	仕様
Japanese	ISO-2022-JP
Japanese以外	ISO-8859-1

AI (オートインフォメーション) 機能について

AI (オートインフォメーション) 機能とは、無線機の各種状態が変化したときに、その内容を自動的にコマンドで出力する機能です。

たとえば、VFO Aの運用周波数を変更したとき、VFO Aの周波数情報がFAコマンドを使ってPCに自動で通知されます。PCから読み出しコマンドを送る必要はありません。VFO Aの周波数以外にも、無線機のほぼ全ての状態変化が各コマンドを使って自動で通知されます。

この機能を使えば、PC上で無線機の状態をリアルタイムに把握することが可能です。これはログ管理ソフトなどのアプリケーションを作成するときに役に立ちます。

この機能はAIコマンドを使ってONにします。(初期状態はOFFです。)

PCコントロールコマンド

注意: アドバンスドメニューの「PSQ/ PKS Pin Assignment (COM Connector)」が「On」に設定されているときは、PCコマンドを利用できません。(COMコネクタを使った通信の場合)

コマンドの構成

コマンドの構成は下記の例のとおりです

```

FA 00007000000 ;
  |           |           |
  コマンド   パラメーター ターミネータ
  
```

コマンド:

コマンドは2文字から4文字の英数字です。大文字・小文字を問いません。

パラメーター:

パラメーターは桁数を正確に各コマンドのフォーマットに合わせてください。無線機によってはフォーマットが異なる場合があります。すでにあるプログラムを使用する場合はご注意ください。パラメーターが付かないものもあります。3桁のパラメーターの場合は999まで入力できますが、有効値は各コマンドで指定している値です。

ターミネータ:

セミコロンはコマンドの終了を意味します。ターミネータの位置は正確に各コマンドのフォーマットに合わせてください。

操作方法

たとえばFAコマンド(VFO Aの周波数)の場合

VFO Aの周波数を7 MHzに設定するときはPCから無線機に下記のコマンドを送ります。

```
FA00007000000;
```

VFO Aの周波数を読みたいときは

PCから無線機に下記のコマンドを送ります。

```
FA;
```

読み出すコマンドを受け付けると

無線機から下記の応答コマンドが出力されます。

```
FA00007000000;
```

エラーメッセージ

エラーが生じた場合、無線機はPCにエラーメッセージ“?;”を送ります。

エラーメッセージ	要因
?;	<ul style="list-style-type: none"> コマンドのフォーマットが間違っている。 フォーマットは合っているが、無線機がそのコマンドを受け付けられない状態にある。 (コマンドを受け付けられないときは、エラーメッセージに回答しない場合があります。)
E;	シリアルデータ伝送時にオーバーランやフレーミングエラーなどの通信エラーが発生している。
O;	受信バッファオーバーランエラーが発生している。

PCコントロールコマンドリスト

AC	アンテナチューナー										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (受信時のAT回路) 0: OFF 1: ON ※ 設定コマンドでは無効。常に1を入れる。
	A	C	P1	P2	P3	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (送信時のAT回路) 0: OFF 1: ON
	A	C	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P3 0: チューニング停止/非動作中 1: チューニング開始/動作中
	A	C	P1	P2	P3	;					
											<ul style="list-style-type: none"> 受信時のAT回路の設定はEXコマンドでおこないます。 チューニングを開始するには“AC111;”を送ります。

AG	AFLレベル										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 000 ~ 255
	A	G	P1	P1	P1	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	G	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	G	P1	P1	P1	;					

AI	オートインフォメーション										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: AI OFF 1: 未使用 2: AI ON (ON状態をバックアップしない) 3: 未使用 4: AI ON (ON状態をバックアップする)
	A	I	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	I	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	<ul style="list-style-type: none"> AI ON時は応答コマンドのあるコマンドでパラメーターに変化があった場合に、それぞれの応答コマンドを出力します。 P1に2を指定してAI機能をONした場合、無線機の電源をOFFにすると、AIはOFFになります。 バックアップしている状態は、フルリセット、スタンダードリセット、VFOリセットで初期化(AI OFF)されます。 AI機能はUSBコネクタ、COMコネクタ、LANコネクタで別々に設定できます。
	A	I	P1	;							

AM	オートモード										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: オートモード OFF 1: オートモード ON
	A	M	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	M	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	M	P1	;							

PCコマンド集

AN		アンテナ選択										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (アンテナ選択) 1: ANT1 2: ANT2 9: 変更無し(設定コマンドのみ)	
	A	N	P1	P2	P3	P4	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (受信アンテナ使用状況) 0: 受信アンテナ使用 無し 1: 受信アンテナ使用 有り 9: 変更無し(設定コマンドのみ)	
	A	N	;									
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P3 (ドライブアウトの選択) 0: ドライブアウト OFF 1: ドライブアウト ON 9: 変更無し(設定コマンドのみ)	
	A	N	P1	P2	P3	P4	;					
											P4 (外部受信機用アンテナ出力) 0: アンテナ出力 OFF 1: アンテナ出力 ON 9: 変更無し	
<ul style="list-style-type: none"> 設定コマンドでは、変更するパラメーターのみを指定することができます。その場合、変更しないパラメーターには"9"を指定します。 応答コマンドの場合、パラメーターP1~P4は、"9"にはなりません。 												

AP0		オーディオピークフィルターのON/OFF										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 1: APF OFF 2: APF ON	
	A	P	0	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	A	P	0	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	A	P	0	P1	;							

AP1		オーディオピークフィルターのシフト										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 00 ~ 80 99: 初期値設定(センター) (設定コマンドのみ) ※ 40がセンター (CWピッチ周波数) ※ 00はセンターからマイナス方向に200Hzシフトした状態 ※ 80はセンターからプラス方向に200Hzシフトした状態 ※ 1ステップあたり5Hz分のシフトに相当します。	
	A	P	1	P1	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	A	P	1	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	A	P	1	P1	P1	;						

AP2		オーディオピークフィルターの通過帯域幅										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: NAR 1: MID 2: WIDE 9: 初期値設定(設定コマンドのみ)	
	A	P	2	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	A	P	2	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	A	P	2	P1	;							

PCコマンド集

AP3		オーディオピークフィルターのゲイン									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0 ~ 6 9: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	A	P	3	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	P	3	;							
応答	4.4	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	P	3	P1	;						

AQ0		AGCクイックリカバリーのON/OFF									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: OFF 1: ON • FMモードでは設定、読み出しはできません(エラーになります)。
	A	Q	0	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	Q	0	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	Q	0	P1	;						

AQ1		AGCクイックリカバリーのスレッシュホールドレベル									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 01 ~ 10 99: 初期値設定 (設定コマンドのみ) • AGCがOFFのときでも読み出し可能です。 • FMモードでは設定、読み出しはできません(エラーになります)。
	A	Q	1	P1	P1	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	Q	1	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	Q	1	P1	P1	;					

AS0		オートモード周波数区分登録									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (追加する周波数区分の上限周波数 (11桁)) ※未使用の上位桁には"0"をセットします。 P2 (指定された周波数区分のモード) モード (OMコマンドのP2を参照) • 周波数区分の総数が32に達している場合は、新規に登録することはできません。
	A	S	0	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	P1	P1	P1	P1	P2	;					

AS1		オートモード周波数区分の総数									パラメーター:
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 00 ~ 32
	A	S	1	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	S	1	P1	P1	;					

AS2		オートモード周波数区分の読み出し									パラメーター:
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (周波数区分番号指定) 00 ~ 31 P2 (指定された周波数区分の上限周波数) 11桁 (例, 14.175 MHzは00014175000と応答します。) P3 (指定された周波数区分のモード) モード (OMコマンドのP2を参照) • 指定された周波数区分番号に情報がない場合には、P2, P3の全ての桁が0で応答されます。 • AI機能がONの場合でも、このコマンドは自動応答しません。
	A	S	2	P1	P1	;					
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	A	S	2	P1	P1	P2	P2	P2	P2	P2	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	P2	P2	P1	P2	P2	P2	P3	;			

PCコマンド集

AS3	オートモード周波数区分の消去										パラメーター: P1 (消去する周波数区分番号) 00~31
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	A	S	3	P1	P1	;					

BC	ビートキャンセル										パラメーター: P1 0: ビートキャンセル OFF 1: ビートキャンセル 1 ON 2: ビートキャンセル 2 ON
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	B	C	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	C	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	C	P1	;							

BD / BU	周波数バンド選択 (設定1)、[UP][DOWN]操作 (設定2)										パラメーター: P1 (対象VFO) 0: VFO A 1: VFO B ※設定1コマンドでは無効。常に操作対象VFOへの設定となります。 P2 (バンドダイレクト呼び出しナンバー) 00: 1.8 MHz帯 01: 3.5 MHz帯 02: 7 MHz帯 03: 10 MHz帯 04: 14 MHz帯 05: 18 MHz帯 06: 21 MHz帯 07: 24 MHz帯 08: 28 MHz帯 09: 50 MHz帯 10: ジェネカバ P3 (バンドメモリーナンバー) 1~3: ※バンドメモリーに対応していない周波数範囲では“0”を応答します。 ・ 同じ周波数バンドのバンドメモリーを変えるときは、設定1コマンドで同じバンドダイレクト呼び出しナンバーを指定します。 ・ 設定2コマンドのBU;を送ることで[UP]を押したときと同じ動作をさせることができ、BD;を送ることで[DOWN]を押したときと同じ動作をさせることができます。 ・ AI機能で自動応答する場合は、BUコマンドで応答します。 ・ 区間指定メモリーチャンネルを表示中に、BD;を送ることでSTART周波数の呼び出し、BU;を送ることでEND周波数の呼び出しをすることができます。
	設定1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	B	D/U	P1	P2	P2	;					
設定2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	D/U	;								
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	D/U	P1	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	D/U	P1	P3	;						

BI	ブレークイン										パラメーター: P1 0: ブレークイン OFF 1: ブレークイン ON ・ CWモード以外では設定できません。 ・ CWモード以外で読み出すと“0”を応答します。
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	B	I	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	I	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	I	P1	;							

PCコマンド集

BK	受信信号のブランキング										パラメーター: P1 0: ブランキング OFF 1: ブランキング ON • ブランキング状態はバックアップしません。 • このコマンドによるブランキングは、受信IF信号に対しても働きません。									
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	B	K	P1	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	B	K	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	B	K	P1	;						

BP	NOTCH周波数										パラメーター: P1 000~255 ※ NOTCHツマミを左に回しきった状態が000、右に回しきった状態が255となります。									
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	B	P	P1	P1	P1	;		
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	B	P	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	B	P	P1	P1	P1	;				

BS0	スコープ画面のON/OFF										パラメーター: P1 0: スコープ画面OFF 1: スコープ画面ON • スコープ表示が一時的に他の画面によって隠れる状態がありますが、応答内容は変化しません。									
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	B	S	0	P1	;			
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	B	S	0	;						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	B	S	0	P1	;					

BS1	スコープ画面種別										パラメーター: P1 0: 標準バンドスコープ+ウォーターフォール 1: 拡大バンドスコープ+ウォーターフォール 2: バンドスコープ 3: オーディオスコープ 4: マルチスコープ • 無線機の画面表示状態によって切り替えできない場合があります(本体の[SCP]キー動作条件に準じます)。 • スコープ表示が一時的に他の画面によって隠れる状態がありますが、応答内容は変化しません。									
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	B	S	1	P1	;			
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	B	S	1	;						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	B	S	1	P1	;					

BS3	バンドスコープの動作モード										パラメーター: P1 0: センターモード 1: FIXモード 2: オートスクロールモード									
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	B	S	3	P1	;			
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	B	S	3	;						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	B	S	3	P1	;					

PCコマンド集

BS4		バンドスコープのスパン									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 5 kHz 1: 10 kHz 2: 25 kHz 3: 50 kHz 4: 100 kHz 5: 200 kHz 6: 500 kHz 9: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	B	S	4	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	S	4	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	S	4	P1	;						

BS5		バンドスコープのスコープ範囲 (FIXモード)									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (スコープ範囲No.) 1~3
	B	S	5	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	S	5	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	S	5	P1	;						

BS6		バンドスコープ表示の一時停止									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 一時停止OFF 1: 一時停止ON
	B	S	6	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	S	6	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	S	6	P1	;						

BS7		バンドスコープのマーカー表示									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 受信周波数のみ 1: 受信周波数と送信周波数
	B	S	7	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	S	7	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	S	7	P1	;						

BS8		バンドスコープのアッテネーター									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: OFF 1: 10 dB 2: 20 dB 3: 30 dB
	B	S	8	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	S	8	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	S	8	P1	;						

PCコマンド集

BS9	バンドスコープのマックスホールド										パラメーター: P1 0: マックスホールド OFF 1: マックスホールド ON
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
読み出し	B	S	9	P1	;						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
応答	B	S	9	P1	;						
	B	S	9	P1	;						

BSA	バンドスコープ表示の平均化										パラメーター: P1 0: OFF 1: レベル1 2: レベル2 3: レベル3
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
読み出し	B	S	A	P1	;						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
応答	B	S	A	P1	;						
	B	S	A	P1	;						

BSB	バンドスコープのウォーターフォール表示スピード										パラメーター: P1 1~4
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
読み出し	B	S	B	P1	;						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
応答	B	S	B	P1	;						
	B	S	B	P1	;						

BSC	バンドスコープのリファレンスレベル										パラメーター: P1 000 ~ 060 ※000は-20dB、040は0dB、060は+10dBです。(1ステップあたり0.5dB)
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
読み出し	B	S	C	P1	P1	P1	;				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
応答	B	S	C	P1	P1	P1	;				
	B	S	C	P1	P1	P1	;				

BSD	バンドスコープのウォーターフォール表示クリア										パラメーター: パラメーター無し ・ AI機能がONのときは、ウォーターフォール表示がクリアされるタイミングで応答コマンドが出力されます。 ・ オーディオスコープを表示している場合には、オーディオスコープのウォーターフォール表示もクリアされます。
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
読み出し	B	S	D	;							
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
応答	B	S	D	;							
	B	S	D	;							

BSE	バンドスコープのマーカーシフト/マーカーセンター										パラメーター: パラメーター無し ・ オートスクロールモード時はマーカーシフト機能が動作します。 ・ FIXモード時はマーカーセンター機能が動作します。 ・ センターモード時は無効です。
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
読み出し	B	S	E	;							
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
応答	B	S	E	;							
	B	S	E	;							

PCコマンド集

BSG		オーディオスコープのアッテネーター									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 0 dB 1: 10 dB 2: 20 dB 3: 30 dB
	B	S	G	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	S	G	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	S	G	P1	;						

BSH		オーディオバンドスコープのスパン(オーディオスコープ用)									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 3 kHz 1: 8 kHz
	B	S	H	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	S	H	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	S	H	P1	;						

BSI		オシロスコープのレベル									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 0 dB 1: -10 dB 2: -20 dB 3: -30 dB
	B	S	I	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	S	I	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	S	I	P1	;						

BSJ		オシロスコープのスィープタイム									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 1 ms 1: 3 ms 2: 10 ms 3: 30 ms 4: 100 ms 5: 300 ms
	B	S	J	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	S	J	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	S	J	P1	;						

BSK		バンドスコープのシフトポジション									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: センターから左に4グリッドの位置 1: センターから左に3グリッドの位置 2: センターから左に2グリッドの位置 3: センターから左に1グリッドの位置 4: センター 5: センターから右に1グリッドの位置 6: センターから右に2グリッドの位置 7: センターから右に3グリッドの位置 8: センターから右に4グリッドの位置
	B	S	K	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	S	K	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	S	K	P1	;						

BSL		バンドスコープ受信回路の状態 (OVF表示)									パラメーター:
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 正常(OVF表示無し) 1: 過大入力によるオーバーフロー発生(OVF表示有り)
	B	S	L	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	B	S	L	P1	;						

PCコマンド集

BSM	バンドスコープのスコープ範囲の下限/上限周波数 (FIXモード、オートスクロールモード用)										パラメーター:
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
B		S	M	P1	P2	P2	P2	P2	P2	P2	
11		12	13	14	15	16	17	18	19	20	
P2		P2	P3	P3	P3	P3	P3	P3	P3	P3	
21		22	23	24	25	26	27	28	29	30	
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (スコープ範囲No.) 0, 1~3 ※ P1:0は、FIXモードでマーカセンター機能により一時的に変化した下限/上限周波数の読み出しと応答に使用します。 ※ オートスクロールモード時の下限/上限周波数の読み出しと応答にも使用します。設定コマンドでは使用できません。 P2 (バンドスコープの下限周波数 (FIXモード用)) 8桁で単位はHz ※ 未使用桁は0 P3 (バンドスコープの上限周波数 (FIXモード用)) 8桁で単位はHz ※ 未使用桁は0 ・ 設定コマンドでP2、P3の両方が99999999のときは初期値が設定されます。
	B	S	M	P1							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (スコープ範囲No.) 0, 1~3 ※ P1:0は、FIXモードでマーカセンター機能により一時的に変化した下限/上限周波数の読み出しと応答に使用します。 ※ オートスクロールモード時の下限/上限周波数の読み出しと応答にも使用します。設定コマンドでは使用できません。 P2 (バンドスコープの下限周波数 (FIXモード用)) 8桁で単位はHz ※ 未使用桁は0 P3 (バンドスコープの上限周波数 (FIXモード用)) 8桁で単位はHz ※ 未使用桁は0 ・ 設定コマンドでP2、P3の両方が99999999のときは初期値が設定されます。
	B	S	M	P1	P2	P2	P2	P2	P2	P2	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	P2	P2	P3	P3	P3	P3	P3	P3	P3	P3	
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	

BSN	オーディオスコープ表示の一時停止										パラメーター:	
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 一時停止 OFF 1: 一時停止 ON
B		S	N	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 一時停止 OFF 1: 一時停止 ON	
	B	S	N	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	B	S	N	P1	;							

BSO	スペクトラム解析範囲の拡大 (EXPAND切り替え)										パラメーター:	
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 拡大 OFF 1: 拡大 ON ※ EXPAND切り替えはセンターモードとオートスクロールモード時に可能です。 ※ スパンが500 kHzのときは常に拡大OFFです。
B		S	O	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 拡大 OFF 1: 拡大 ON ※ EXPAND切り替えはセンターモードとオートスクロールモード時に可能です。 ※ スパンが500 kHzのときは常に拡大OFFです。	
	B	S	O	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	B	S	O	P1	;							

BY	BUSY LEDの状態										パラメーター:	
	読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: BUSY LED 消灯 1: BUSY LED 点灯
B		Y	;									
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: BUSY LED 消灯 1: BUSY LED 点灯	
	B	Y	P1	;								

CA	CWオートチューン										パラメーター:	
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: CWオートチューン停止/非動作中 1: CWオートチューン開始/動作中
C		A	P1	;								
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: CWオートチューン停止/非動作中 1: CWオートチューン開始/動作中	
	C	A	;									
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	C	A	P1	;								

PCコマンド集

CD0	CW通信画面表示										パラメーター: P1 0: CW通信画面表示 OFF 1: CW通信画面表示 ON
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	C	D	0	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	D	0	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	D	0	P1	;						

CD1	CWモールス解読スレッシュヨルドレベル										パラメーター: P1 001~030 設定時に範囲外の値を指定した場合、001以下の値は001に、030以上の値は030に補正されます。
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	C	D	1	P1	P1	P1	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	D	1	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	D	1	P1	P1	P1	;				

CD2	CWモールス解読文字の出力										パラメーター: P1 デコードした文字(通常は1文字、略符号の場合は2文字) ・ AI機能がONのときにCWモールス解読機能で解読した文字を出力します。
	応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	C	D	2	P1	P1	;					

CD3	CW通信画面(デコードフィルター)										パラメーター: P1 0: OFF 1: Normal 3: Narrow
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	C	D	3	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	D	3	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	D	3	P1	;						

CD4	CW通信画面(クイックモード)										パラメーター: P1 0: クイックモード OFF 1: クイックモード ON
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	C	D	4	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	D	4	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	D	4	P1	;						

CD5	CWデコード										パラメーター: P1 0: CWデコード OFF 1: CWデコード ON ・ このコマンドはCW通信画面のF5[DEC OFF]およびF5[DEC ON]の操作に相当します。
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	C	D	5	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	D	5	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	D	5	P1	;						

PCコマンド集

CG	キャリアレベル										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 000~100
	C	G	P1	P1	P1	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	G	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	G	P1	P1	P1	;					

CH	MULTI/CHツマミ										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 1ステップUP 1: 1ステップDOWN
	C	H	P1	;							

CK0	時計(ローカルクロックの日付、時刻)										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 18~99:年 P2 01~12:月 P3 01~31:日 P4 00~23:時 P5 00~59:分 ※NTPによる自動補正の設定がONのときは、このコマンドによる設定はできません。
	C	K	0	P1	P1	P2	P2	P3	P3	P4	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
読み出し	P4	P5	P5	P6	P6	;					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
応答	C	K	0	;							
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	K	0	P1	P1	P2	P2	P3	P3	P4	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	P4	P5	P5	P6	P6	;					

CK1	時計(ローカルクロックの日付および時刻の設定状況)										パラメーター:
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 未設定 1: 設定済
	C	K	1	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	K	1	P1	;						

CK2	時計(ローカルクロックのタイムゾーン)										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 000~112(1ステップは15分) ※000:-14:00、001:-13:45、002:-13:30、・・・、056:+00:00、・・・、112 :+14:00
	C	K	2	P1	P1	P1	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	K	2	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	K	2	P1	P1	P1	;				

CK3	時計(第2時計のタイムゾーン)										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 000~112(1ステップは15分) ※000:-14:00、001:-13:45、002:-13:30、・・・、056:+00:00、・・・、112 :+14:00
	C	K	3	P1	P1	P1	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	K	3	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	K	3	P1	P1	P1	;				

PCコマンド集

CK4	時計(第2時計の識別文字)										パラメーター: P1 1文字 ※大文字のアルファベット A~Z
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	C	K	4	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	K	4	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	K	4	P1	;						

CK5	時計(日付表示フォーマット)										パラメーター: P1 0: MM/DD/YY 1: DD/MM/YY 2: YY/MM/DD
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	C	K	5	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	K	5	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	K	5	P1	;						

CK6	時計(自動日時補正)										パラメーター: P1 0: 自動日時補正 OFF 1: 自動日時補正 ON ※NTPサーバーアドレスが設定されていない場合はONにできません。
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	C	K	6	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	K	6	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	K	6	P1	;						

CK7	時計(NTPサーバーアドレス)										パラメーター: P1 常にスペース P2 NTPサーバーアドレス(最大50文字) ※設定コマンドでP2をblankにするとNTPサーバーアドレスの設定内容が削除されます。このとき自動日時補正は自動的にOFFになります。
	設定	1	2	3	4	5~	x				
	C	K	7	P1	P2	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	K	7	;							
応答	1	2	3	4	5~	x					
	C	K	7	P1	P2	;					

CK8	時計(NTPサーバーから取得)										パラメーター: パラメーター無し
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	C	K	8	;							

CK9	時計表示										パラメーター: P1 0: Off (時計を表示しない) 1: Local Clock 2: Secondary Clock 3: Both (Local ClockとSecondary Clock)
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	C	K	9	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	K	9	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	K	9	P1	;						

PCコマンド集

CM0	CWメッセージ(パドル入力)の登録										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (動作状態) 0: 非動作中／登録終了・待機状態終了 1: CH 1 登録中／登録待機 2: CH 2 登録中／登録待機 3: CH 3 登録中／登録待機 4: CH 4 登録中／登録待機 5: CH 5 登録中／登録待機 6: CH 6 登録中／登録待機 7: CH 7 登録中／登録待機 8: CH 8 登録中／登録待機 P2 (登録メモリー容量進捗(%)) 000~100 ※ 登録待機中は000です。 ・ 非動作中は応答1コマンド、登録中または登録待機中は応答2コマンドが応答コマンドとして出力されます。 ・ メニュー「CW Message Entry」で「Text String」が選択されている場合、このコマンドは使用することはできません。
	C	M	0	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	M	0	;							
応答 1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	M	0	0	;						
応答 2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	M	0	P1	P2	P2	P2	;			

CM1	CWメッセージの再生／停止										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (再生／停止動作) 0: 非動作中／再生停止 1: CH 1 再生中／再生開始 2: CH 2 再生中／再生開始 3: CH 3 再生中／再生開始 4: CH 4 再生中／再生開始 5: CH 5 再生中／再生開始 6: CH 6 再生中／再生開始 7: CH 7 再生中／再生開始 8: CH 8 再生中／再生開始 P2 (リピート再生の動作) 0: 非動作中／再生中 1: リピート再生待ちの状態(リピートインターバルカウント中)
	C	M	1	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	M	1	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	M	1	P1	P2	;					

CM2	CWメッセージ(パドル入力)の登録状況										パラメーター:
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (CWメッセージチャンネル) 1~8 P2 (登録状況) 0: 未登録 1: 登録済 ・ メニュー「CW Message Entry」で「Text String」が選択されている場合、このコマンドは使用することはできません。
	C	M	2	P1	;						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	M	2	P1	P2	;					

CM3	CWメッセージ(パドル入力)の削除										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (CWメッセージチャンネル) 1~8 ・ AI機能がONのときは、削除した結果はCM2コマンドで通知されません。 ・ メニュー「CW Message Entry」で「Text String」が選択されている場合、このコマンドは使用することはできません。
	C	M	3	P1	;						

PCコマンド集

CM4	CWメッセージメモリーネーム (パドル入力)										パラメーター:
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (CWメッセージチャンネル) 1~8
	C	M	4	P1	;						
応答	1	2	3	4	5	6~	x				スペース固定
	C	M	4	P1	P2	P3	;				P3 (ネーム) 最大20文字
											<ul style="list-style-type: none"> メニュー「CW Message Entry」で「Text String」が選択されている場合、このコマンドは使用することはできません。

CM5	CWメッセージメモリー登録 (テキスト入力用)										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6~	x				P1 (CWメッセージチャンネル) 1~8
	C	M	5	P1	P2	P3	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	スペース固定
	C	M	5	P1	;						P3 (メッセージ) 最大50文字 ※ 使用可能な文字は、取扱説明書を参照してください。
応答	1	2	3	4	5	6~	x				<ul style="list-style-type: none"> メニュー「CW Message Entry」で「Paddle」が選択されている場合、このコマンドは使用することはできません。
	C	M	5	P1	P2	P3	;				

CM6	CWメッセージチャンネルのリピート										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (CWメッセージチャンネル) 1~8
	C	M	6	P1	P2	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	0: リピートOFF
	C	M	6	P1	;						1: リピートON
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	<ul style="list-style-type: none"> 未登録チャンネルへの設定はできません。
	C	M	6	P1	P2	;					

CM7	コンテストナンバー										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (動作) 0: デクリメント P2 (コンテストナンバー) 0000~9999
	C	M	7	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	M	7	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	C	M	7	P2	P2	P2	P2	;			

PCコマンド集

CN	CTCSS周波数										パラメーター:							
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (CTCSS周波数)						
	C	N	P1	P1	;						P2	周波数 (Hz)	P2	周波数 (Hz)	P2	周波数 (Hz)	P2	周波数 (Hz)
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	00	67.0	13	103.5	26	159.8	39	199.5
	C	N	;								01	69.3	14	107.2	27	162.2	40	203.5
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	02	71.9	15	110.9	28	165.5	41	206.5
	C	N	P1	P1	;						03	74.4	16	114.8	29	167.9	42	210.7
											04	77.0	17	118.8	30	171.3	43	218.1
											05	79.7	18	123.0	31	173.8	44	225.7
											06	82.5	19	127.3	32	177.3	45	229.1
											07	85.4	20	131.8	33	179.9	46	233.6
											08	88.5	21	136.5	34	183.5	47	241.8
											09	91.5	22	141.3	35	186.2	48	250.3
											10	94.8	23	146.2	36	189.9	49	254.1
											11	97.4	24	151.4	37	192.8		
											12	100.0	25	156.7	38	196.6	99	初期値へ

※存在しない値の設定は無効になります。
※99は設定コマンドのみです。

CP	内蔵メモリーおよびUSBメモリーの残量										パラメーター:
	読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	C	P	P1	;							0: 内蔵メモリー
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (残量)
	C	P	P1	P2	;						0: 十分
											1: 少ない
											2: 非装着 (USBメモリーの場合のみ)

DD0	バンドスコープ表示データ出力制御										パラメーター:
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	D	D	0	P1	;						0: 出力無し
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1: LANへの出力 (高頻度)
	D	D	0	;							2: LANへの出力 (中頻度)
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	3: LANへの出力 (低頻度)
	D	D	0	P1	;						4: COM/USBへの出力 (AI機能連携)
											5: COM/USBへの出力 (AI機能非連携)

- 「LANへの出力」を指定した場合、表示情報は##DD2コマンドで出力されます。
- 「COM/USBへの出力 (AI機能連携)」を指定した場合、出力情報はDD2コマンドで出力されます。
- 「COM/USBへの出力 (AI機能非連携)」を指定した場合、出力情報はスコープモードおよびスコープ範囲情報を含んだDD4コマンドで出力されます。
- 「COM/USBへの出力 (AI機能非連携)」を選択する場合は、AI機能をOFFしてください。AI機能と併用することはできません。

DD1	フィルタースコープ表示データ出力制御										パラメーター:
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	D	D	1	P1	;						0: 出力無し
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1: LANへの出力 (高頻度)
	D	D	1	;							2: COM/USBへの出力 (低頻度)
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	D	D	1	P1	;						

DD2	バンドスコープ表示情報 (AI機能連携) (COM/USB出力専用)								パラメーター:	
	応答	1	2	3	4	5	6~45	46		
	D	D	2	P1	P1	P2	;			P2 (バンドスコープスペクトル表示情報 (40桁)) 20本のスペクトル情報を1本あたりASCIIコード2桁で表します。 分割No.00の最初の2桁が左端のスペクトル情報で、分割No.31の最後の2桁が右端のスペクトル情報となります。 EXPAND (スペクトル解析範囲拡大) がONのときは、無線機に表示している範囲よりも拡大した範囲の表示情報を出力します。 例: <ul style="list-style-type: none"> 表示スパンが100kHzの場合は、300kHzに拡大された範囲のスペクトル表示情報を出力します。 表示スパンが200kHzの場合は、400kHzに拡大された範囲のスペクトル表示情報を出力します。 各スペクトル情報の値の範囲は16進数で00h~8Ch。 00hはスペクトルが最も上に延びた状態 (信号強度は0dB) を示し、8Chはスペクトルが表示されない状態 (信号強度は-100dB) を示します。 各スペクトル情報の16進数のASCIIコードへの変換は上位バイトの桁からおこないます。8Chのときは“8”、“C”の順番になります。 <ul style="list-style-type: none"> AI機能がONで、DD0コマンドを「COM/USBへの出力 (AI機能連携)」に設定しているときのみ、分割No.00からNo.31まで順に出力されます。 ボーレートが115200 bpsに設定されているときのみ有効です。

DD3	フィルタースコープ表示情報 (COM/USB出力専用)								パラメーター:	
	応答	1	2	3	4	5	6~43	44		
	D	D	3	P1	P1	P2	;			P2 (スペクトル表示情報 (38桁)) 19本のスペクトル情報を1本あたりASCIIコード2桁で表します。 分割No.00の最初の2桁が左端のスペクトル情報で、分割No.11の7、8桁目が右端のスペクトル情報となります。 各スペクトル情報の値の範囲は16進数で00h~32hです。 00hはスペクトルが最も上に延びた状態 (信号強度は0dB) を示し、32hはスペクトルが表示されない状態 (信号強度は-50dB) を示します。 各スペクトル情報の16進数のASCIIコードへの変換は上位バイトの桁からおこないます。32hのときは“3”、“2”の順番になります。 <ul style="list-style-type: none"> AI機能がONで、DD1コマンドを「COM/USBへの出力」に設定しているときのみ、分割No.00からNo.11まで順に出力されます。 無線機がオーディオスコープを表示している場合は出力されません。 ボーレートが115200 bpsに設定されているときのみ有効です。

PCコマンド集

DD4		バンドスコープ表示情報 (AI機能非連携、スコープモードおよびスコープ範囲情報付)								パラメーター:	
読み出し	1	2	3	4	5	6	7~17	18~28	P1 (分割No.) 00 ~ 32		
	D	D	4	P1	P1	P2	P3	P4	P2 (バンドスコープの動作モード) 0: センターモード 1: FIXモード 3: オートスクロールモード		
	29	30								P3 (スコープ範囲情報1) センターモードの場合は、スパン周波数を通知します。 FIXモードおよびオートスクロールモードではスコープの下限周波数を通知します。 単位はHzで、未使用の上位桁は"0"です。	
応答	1	2	3	4	5	6~45	46		P4 (スコープ範囲情報2) センターモードの場合は、現在のセンター周波数を通知します。 FIXモードおよびオートスクロールモードではスコープの上限周波数を通知します。 単位はHzで、未使用の上位桁は'0'です。		
	D	D	4	P1	P1	P6	;		P5 (スコープ表示範囲外情報) 0: 範囲内 1: 範囲外 (スコープ画面上に"Outside of the measuring range"が表示されている状態)		
<p>P5 (バンドスコープスペクトル表示情報) 20本のスペクトル情報を1本あたりASCIIコード2桁で表します。 分割No.01の最初の2桁が、スコープ範囲の下限周波数の部分のスペクトル情報で、分割No.32の最後の2桁が、スコープ範囲の上限周波数の部分のスペクトル情報となります。</p> <p>各スペクトル情報の値の範囲は16進数で00h~8Chです。 00hはスペクトルが最も上に延びた状態 (信号強度=0dB) を示し、8Chはスペクトルが表示されない状態 (信号強度=-100dB) を示します。</p> <p>各スペクトル情報の16進数のASCIIコードへの変換は上位バイトの桁からおこないます。8Chのときは'8', 'C'の順番になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> DD0コマンドで「COM/USBへの出力 (AI機能連携)」を選択しているときに、分割No.00からNo.32まで順に出力されます。 センターモードおよびオートスクロールモードで、EXPAND機能がONの場合は、このコマンドは出力されません。 ボーレートが115200 bpsに設定されているときのみ有効です。 											

DF		ΔF表示										パラメーター:	
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (状態) 0: シンプレックスモード 1: スプリットモードまたはスプリット運用周波数設定中		
	D	F	;								P2 (符号) 0: プラス 1: マイナス ※ P1:0のときは、"0"となります。		
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P3 (周波数 (11桁)) 単位はHz。 ※使用しない桁には"0"が入ります。 ※P1:0のときは、全ての桁が"0"となります。		
	D	F	P1	P2	P3	P3	P3	P3	P3	P3			
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20			
	P3	P3	P3	P3	P3	;							

DMO		ディママー										パラメーター:	
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (ディママープリセット番号) 1 ~ 4		
	D	M	0	P1	;								
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
	D	M	0	;									
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
	D	M	0	P1	;								

PCコマンド集

DM1		ディマー調整									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (ディマープリセット番号) 1~4
	D	M	1	P1	P2	P3	P3	P3	;		
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (調整対象) 0: ディスプレイ 1: LED
	D	M	1	P1	P2	;					
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P3 (ディマー調整値) 005~100 (5ステップ) 999: 初期値設定 (設定コマンドのみ) ※ ステップ間の値は切り捨てます。(例: 013は010として設定) ※ ディマー調整値000 (消灯) はディマープリセット番号4のみ対応します。
	D	M	1	P1	P2	P3	P3	P3	;		

DN / UP		マイクロホンのUP/DOWNスイッチ動作									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (ステップ (動作) 回数) 00~99
	D/U	N/P	P1	P1	;						
<ul style="list-style-type: none"> パラメーターを省略して"DN;"、"UP;"としたときは1ステップとして動作します。 パラメーターデータが00~99のときは指定されたステップ分の周波数等の変更となります。 メモリーチャンネルモードでは、パラメーターを付けると周波数の可変となり、パラメーターを付けないときはメモリーチャンネルの可変となります。 パラメーターデータに"00"を指定した場合、周波数の数値を変えないという意味でコマンドを受け付けますので、無線機の運用上何も変化せず、エラーも応答しません。 											

DS0		画面表示状態 (基本画面)									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 標準 1: SWL表示モード
	D	S	0	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	D	S	0	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	D	S	0	P1	;						

DS1		画面表示状態 (機能設定画面)									パラメーター:
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 画面ID (3桁) (画面ID一覧表を参照)
	D	S	1	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	機能設定画面の状態により、無線機のパネル操作と同様にコマンドによる各種操作が制限される場合があります。
	D	S	1	P1	P1	P1	;				

P1	画面
000	設定画面無し(表示終了)
001, 002	未使用
003	AGC設定画面
004	AGCクイックリカバリー設定画面
005	送信音声入力音源設定画面
006	送信出力リミット設定画面
007	キャリアレベル設定画面
008	VOXレベル設定画面
009	送信モニターレベル設定画面
010	スピーチプロセッサ設定画面
011~014	CWメッセージ画面
015, 016, 132	CW通信画面
017, 133	RTTY通信画面
018, 019	RTTYメッセージ画面
020, 134	PSK通信画面

PCコマンド集

P1	画面
021, 022	PSKメッセージ画面
023	FM トーン周波数設定画面
024	FM CTCSS周波数設定画面
025	FM クロストーン周波数設定画面
026	受信フィルター設定画面
027	オーディオピークフィルター設定画面
028	NB1レベル設定画面
029	NB2レベル設定画面
030	NR1レベル設定画面
031	NR2レベル設定画面
032	FIXモードスコープ範囲設定画面
033, 135	メモリーチャンネルリスト画面
034	VFO/プログラムスキャン区間設定画面
035	プログラムスロースキャンポイント設定画面
036	メモリースキャングループ設定画面
037	ボイスメッセージ画面
038~040, 041~043, 045~048, 161~164, 174, 176, 178~183	各種ファイル選択画面
044, 177	LOG View画面
049~127	未使用
128	受信イコライザー画面
129	受信イコライザー調整画面
130	送信イコライザー画面
131	送信イコライザー調整画面
136~159	メニュー関連画面
165, 166	タイマー設定関連画面
167	ディマー設定画面
168	リニアアンプメニュー設定画面
169~172	KNS機能関連画面
173	周波数マーカーリスト画面
160, 184~186	USBメモリー/ファイル管理メニュー関連画面

DS2	画面表示状態(その他)										パラメーター:
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0:各種編集画面表示OFF 1:周波数エントリー中 2:周波数エントリー履歴表示中 3:チャンネル番号エントリー中 4:文字列編集集中 5:メモリーチャンネル登録中
	D	S	2	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	• 各種文字列編集集中、周波数エントリー入力中、チャンネル番号エントリー入力中、メモリーチャンネル登録中は、本体のパネル操作と同様にコマンドによる各種操作が制限される場合があります。
	D	S	2	P1	;						

DS3	機能設定画面の終了										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	パラメーター無し • 操作パネルの[ESC]と同等の操作をおこなうことができます。
	D	S	3	;							

PCコマンド集

DV		DATA VOX									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: OFF 1: ACC 2 2: USB Audio 3: LAN
	D	V	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	D	V	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	D	V	P1	;							

EC		VFO AとVFO Bの周波数情報の入れ替え									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	パラメーター無し
	E	C	;								

EM		非常通信周波数呼び出し									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	パラメーター無し ・ このコマンドを送ると非常通信周波数に切り替わります。また、スプリットの場合はシンプレックスに切り替わります。
	E	M	;								

EQR0		受信イコライザー									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 受信イコライザーOFF 1: 受信イコライザーON ・ 設定コマンドは、現在選択されている受信モードに対して有効です。
	E	Q	R	0	P1	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	E	Q	R	0	;						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	E	Q	R	0	P1	;					

EQR1		受信イコライザーエフェクト									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: High Boost 1 1: High Boost 2 2: Formant Pass 3: Bass Boost 1 4: Bass Boost 2 5: Flat 6: User 1 7: User 2 8: User 3 ・ 設定コマンドは、現在選択されている受信モードに対して有効です。 ・ 選択したエフェクトのイコライジングにはURコマンドを使用します。
	E	Q	R	1	P1	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	E	Q	R	1	;						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	E	Q	R	1	P1	;					

EQR2		受信イコライザーのコピー									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (コピー先) 0: User 1 1: User 2 2: User 3 ・ 現在選択中のエフェクトにおける調整内容が指定のコピー先にコピーされます。
	E	Q	R	2	P1	;					

PCコマンド集

EQT0	送信イコライザー										パラメーター:	
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1	0: 送信イコライザー OFF 1: 送信イコライザー ON
	E	Q	T	0	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1	<ul style="list-style-type: none"> 送信のモードがCW, FSK, PSKのときは、設定と読み出しのどちらもできません。 設定コマンドは、現在選択されている送信モードに対して有効です。
	E	Q	T	0	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1	
	E	Q	T	0	P1	;						

EQT1	送信イコライザーエフェクト										パラメーター:	
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1	0: High Boost 1 1: High Boost 2 2: Formant Pass 3: Bass Boost 1 4: Bass Boost 2 5: Conventional 6: User 1 7: User 2 8: User 3
	E	Q	T	1	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1	<ul style="list-style-type: none"> 送信のモードがCW, FSK, PSKのときは、設定と読み出しのどちらもできません。 設定コマンドは、現在選択されている送信モードに対して有効です。 選択したエフェクトのイコライジングにはUTコマンドを使用します。
	E	Q	T	1	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1	
	E	Q	T	1	P1	;						

EQT2	送信イコライザーのコピー										パラメーター:	
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (コピー先)	0: User 1 1: User 2 2: User 3
	E	Q	T	2	P1	;						
											<ul style="list-style-type: none"> 現在選択中のエフェクトにおける調整内容が指定のコピー先にコピーされます。 	

PCコマンド集

EX	MENUの設定										パラメーター: P1 (メニュー種別番号) 0: メニュー 1: アドバンストメニュー P2 (カテゴリ番号) 00 ~ 99 ※ 存在しない番号を指定した場合はエラーとなります。 ※ アドバンストメニューのときは任意の値を入力します。 P3 (項目番号) 00 ~ 99 ※ 存在しない番号を指定した場合はエラーとなります。 ※ 設定できない項目番号 (使用許諾など) を指定した場合はエラーとなります。 P4 (設定種別) Space: 通常設定 9: 初期値設定 (設定コマンドのみ) ※ 応答コマンドでは常にスペースです。 P5 (設定内容) 通常は3桁の数字。(値のない上位桁には"0"を入れます。) 各PFキー設定項目では4桁。(「PF キー機能割り当て番号一覧」を参照) パワーオンメッセージ設定では0~15文字の範囲で可変長です。 スクリーンセーバーテキスト設定では0~10文字の範囲で可変長です。 ※ 詳細は「EXコマンドパラメーター一覧」を参照してください。 ※ 各メニュー項目における設定範囲を越える値を入力した場合はエラーとなります。 ※ P4に初期値設定を指定した場合は、このパラメーターは省略します。
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9 ~		
	E	X	P1	P2	P2	P3	P3	P4	P5		
	x										
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	E	X	P1	P2	P2	P3	P3	;			
	x										
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9 ~		
	E	X	P1	P2	P2	P3	P3	P4	P5		
	x										

EX コマンドパラメーターリスト

Menu												
P1	P2	P3	機能		P5							
					000	001	002	003	004	005	006 ~	
0	00	00	Color Display Pattern	ディスプレイのカラータイプ選択 (背景色)	Type 1	Type 2	Type 3					
0	00	01	Function Key Style	ファンクションキーの種類	Type 1	Type 2	Type 3					
0	00	02	Font Style (Frequency Display)	フォントの種類 (周波数表示)	Font 1	Font 2	Font 3	Font 4	Font 5			
0	00	03	Screen Saver	スクリーンセーバー	Off	Type 1	Type 2	Type 3	Display Off			
0	00	04	Screen Saver Wait Time	スクリーンセーバー待ち時間	Preview (5 [sec])	5 [min]	15 [min]	30 [min]	60 [min]			
0	00	05	Screen Saver Message	スクリーンセーバーメッセージ	最大10文字までの英数字							
0	00	06	Power-on Message	パワーオンメッセージ	最大15文字までの英数字							
0	00	07	FM Mode S-Meter Sensitivity	FM Sメーター感度	Normal	High						
0	00	08	Meter Response Speed (Analog)	アナログメーターレスポンス		1	2	3	4			
0	00	09	Meter Display Pattern	メータータイプ	Digital	Analog (White)	Analog (Black)					
0	00	10	Meter Display Peak Hold	メーターピークホールド	Off	On						
0	00	11	S-Meter Scale	Sメータースケール	Type 1	Type 2						
0	00	12	TX Digital Meter	送信デジタルメーター	Off	On						
0	00	13	Long Press Duration of Panel Keys	キーの長押し時間	200 [ms]	300 [ms]	400 [ms]	500 [ms]	600 [ms]	700 [ms]	最大2000 [ms] (100 [ms]ステップ)	
0	00	14	Touchscreen Tuning	タッチスクリーンチューニング	Off	On						
0	00	15	PF A: Key Assignment	[PF A]の機能割り当て	「PFキー機能割り当て番号一覧」を参照							
0	00	16	PF B: Key Assignment	[PF B]の機能割り当て	「PFキー機能割り当て番号一覧」を参照							

PCコマンド集

Menu										
P1	P2	P3	機能		P5					
					000	001	002	003	004	005
0	00	17	PF C: Key Assignment	[PF C]の機能割り当て	P「PFキー機能割り当て番号一覧」を参照					
0	00	18	External PF 1: Key Assignment	キーボード[PF 1]への機能割り当て	「PFキー機能割り当て番号一覧」を参照					
0	00	19	External PF 2: Key Assignment	キーボード[PF 2]への機能割り当て	「PFキー機能割り当て番号一覧」を参照					
0	00	20	External PF 3: Key Assignment	キーボード[PF 3]への機能割り当て	「PFキー機能割り当て番号一覧」を参照					
0	00	21	External PF 4: Key Assignment	キーボード[PF 4]への機能割り当て	「PFキー機能割り当て番号一覧」を参照					
0	00	22	External PF 5: Key Assignment	キーボード[PF 5]への機能割り当て	「PFキー機能割り当て番号一覧」を参照					
0	00	23	External PF 6: Key Assignment	キーボード[PF 6]への機能割り当て	「PFキー機能割り当て番号一覧」を参照					
0	00	24	External PF 7: Key Assignment	キーボード[PF 7]への機能割り当て	「PFキー機能割り当て番号一覧」を参照					
0	00	25	External PF 8: Key Assignment	キーボード[PF 8]への機能割り当て	「PFキー機能割り当て番号一覧」を参照					
0	00	26	Microphone PF 1: Key Assignment	マイク[PF 1]への機能割り当て	「PFキー機能割り当て番号一覧」を参照					
0	00	27	Microphone PF 2: Key Assignment	マイク[PF 2]への機能割り当て	「PFキー機能割り当て番号一覧」を参照					
0	00	28	Microphone PF 3: Key Assignment	マイク[PF 3]への機能割り当て	「PFキー機能割り当て番号一覧」を参照					
0	00	29	Microphone PF 4: Key Assignment	マイク[PF 4]への機能割り当て	「PFキー機能割り当て番号一覧」を参照					
0	00	30	Microphone DOWN: Key Assignment	マイク[DOWN]への機能割り当て	「PFキー機能割り当て番号一覧」を参照					
0	00	31	Microphone UP: Key Assignment	マイク[UP]への機能割り当て	「PFキー機能割り当て番号一覧」を参照					
0	00	32	Automatic Power Off	APO (オートパワーオフ)	Off	60 [min]	120 [min]	180 [min]		
0	01	00	Beep Volume	ビーブ音量	Off	1	2	3	4	5 最大20
0	01	01	Voice Message Volume (Play)	ボイスメッセージの再生音量	Off	1	2	3	4	5 最大20
0	01	02	Sidetone Volume	サイドトーン音量	Linked with Monitor Control	Off	1	2	3	4 最大20
0	01	03	Voice Guidance Volume	音声案内音量	Off	1	2	3	4	5 最大20
0	01	04	Voice Guidance Speed	音声案内速度		1	2	3	4	
0	01	05	User Interface Language (Voice Guidance & Messages)	音声案内及びメッセージ表示言語	English	Japanese				
0	01	06	Automatic Voice Guidance	自動音声案内	Off	On				
0	02	00	FFT Scope Averaging (RTTY Decode)	FFTスコープの平均化 (RTTY Decode)	0	1	2	3	4	5 最大9
0	02	01	RX UOS	RX Unshift On Space 受信時アンシフトオンスペース	Off	On				
0	02	02	Newline Code	改行コードの選択(受信時)	CR+LF	All				
0	02	03	Diddle	デイドル	Off	Blank Code	Letters Code			
0	02	04	TX UOS	TX Unshift On Space 送信時アンシフトオンスペース	Off	On				
0	02	05	Automatic Newline Insertion	改行コードの自動挿入	Off	On				
0	02	06	FSK Spacing	FSKシフト幅	170 [Hz]	200 [Hz]	425 [Hz]	850 [Hz]		
0	02	07	FSK Keying Polarity	FSK キー極性	Off	On				

PCコマンド集

Menu												
P1	P2	P3	機能		P5							
					000	001	002	003	004	005	006 ~	
0	02	08	FSK Tone Frequency	FSKトーン	1275 [Hz]	2125 [Hz]						
0	02	09	RTTY Tuning Scope	RTTY同調確認用スコープ表示	FFT Scope	X-Y Scope						
0	02	10	FFT Scope Averaging (PSK Decode)	FFTスコープの平均化 (PSK デコード)	0	1	2	3	4	5	最大9	
0	02	11	PSK AFC Tuning Range	PSK AFC の動作範囲	±8 [Hz]	±15 [Hz]						
0	02	12	PSK Tone Frequency	PSK トーン周波数	1.0 [kHz]	1.5 [kHz]	2.0 [kHz]					
0	02	13	PSK Tuning Scope	PSK同調確認用スコープ表示	FFT Scope	Vector Scope						
0	02	14	CW/RTTY/PSK Log File Format	CW/RTTY/ PSK ログファイル保存フォーマット	html	txt						
0	02	15	CW/RTTY/PSK Time Stamp	CW/RTTY/ PSK タイムスタンプ	Off	Time Stamp	Stamp + Frequency					
0	02	16	Clock (CW/RTTY/PSK Time Stamp)	CW/RTTY/ PSK タイムスタンプの時計選択	Local Clock	Secondary Clock						
0	02	17	Waterfall when Tuning (RTTY/PSK Audio Scope)	RTTY/PSKウォーターフォール表示タイプの選択	Straight	Follow						
0	03	00	Frequency Rounding Off (Multi/ Channel Control)	[MULTI/CH]ツマミの周波数丸め	Off	On						
0	03	01	SSB Mode Frequency Step Size (Multi/Channel Control)	SSBモードの[MULTI/CH]ツマミのステップ	0.5 [kHz]	1 [kHz]	2.5 [kHz]	5 [kHz]	10 [kHz]			
0	03	02	CW/FSK/PSK Mode Frequency Step Size (Multi/Channel Control)	CW/ FSK/ PSKモードの[MULTI/CH]ツマミのステップ	0.5 [kHz]	1 [kHz]	2.5 [kHz]	5 [kHz]	10 [kHz]			
0	03	03	FM Mode Frequency Step Size (Multi/Channel Control)	FMモードの[MULTI/CH]ツマミのステップ	5 [kHz]	6.25 [kHz]	10 [kHz]	12.5 [kHz]	15 [kHz]	20 [kHz]	006: 25 [kHz] 007: 30 [kHz] 008: 50 [kHz] 009: 100 [kHz]	
0	03	04	AM Mode Frequency Step Size (Multi/Channel Control)	AMモードの[MULTI/CH]ツマミのステップ	5 [kHz]	6.25 [kHz]	10 [kHz]	12.5 [kHz]	15 [kHz]	20 [kHz]	006: 25 [kHz] 007: 30 [kHz] 008: 50 [kHz] 009: 100 [kHz]	
0	03	05	9 kHz Step in AM Broadcast Band (Multi/ Channel Control)	BCバンド内(AM)における[MULTI/CH]ツマミのステップ	Off	On						
0	03	06	MHz Step	MHzステップ	100 [kHz]	500 [kHz]	1000 [kHz]					
0	03	07	Tuning Control : Number of Steps per Revolution	[同調](M)ツマミ1回転の変化量	250 [Step]	500 [Step]	1000 [Step]					
0	03	08	Tuning Speed Control	同調ツマミの早送り		Off	2	3	4	5	最大10	
0	03	09	Tuning Speed Control Sensitivity	同調ツマミの早送り感度		1	2	3	4	5	最大10	
0	03	10	Lock Function	ロック機能	Frequency Lock	Tuning Control Lock						
0	03	11	Number of Band Memories	バンドメモリー数	1	3	5					
0	03	12	Split Frequency Offset by RIT/XIT Control	[RIT/XIT]ツマミによるスプリット周波数変更	Off	TX Frequency Offset while RX	RX Frequency Offset while TX	Both				
0	03	13	Band Direct Keys in Split Mode	スプリット時のバンドダイレクトキー	RX Band	RX Band and Cancel Split Mode	RX/TX Band					
0	04	00	Number of Quick Memory Channels	クイックメモリーのチャンネル数	3 [ch]	5 [ch]	10 [ch]					
0	04	01	Temporary Change (Memory Channel Configurations)	メモリー周波数の一時可変	Off	On						
0	04	02	Program Slow Scan	プログラムスロースキャン	Off	On						

PCコマンド集

Menu											
P1	P2	P3	機能	P5							
				000	001	002	003	004	005	006 ~	
0	04	03	Program Slow Scan Range	プログラムスロースキャンの区間幅	100 [Hz]	200 [Hz]	300 [Hz]	400 [Hz]	500 [Hz]		
0	04	04	Scan Hold	スキャンホールド	Off	On					
0	04	05	Scan Resume	スキャン再開条件	Time-operated	Carrier-operated					
0	05	00	Paddle Jack Configuration (Front)	PADDLEジャック(前面)の機能設定	Key	Paddle	Paddle (Bug Key Mode)				
0	05	01	Key Jack Configuration (Rear)	KEYジャック(背面)の機能設定	Key	Paddle	Paddle (Bug Key Mode)				
0	05	02	Electronic Keyer Squeeze Mode	エレクトロニックキーヤー動作モード	Mode A	Mode B					
0	05	03	Dot and Dash Reversed Keying	バドルのドットとダッシュ入替え	Off	On					
0	05	04	Paddle (Microphone Up/Down Keys)	バドル(マイクロホン[UP]、[DOWN])	Off	On					
0	05	05	CW BFO Sideband	CW BFOサイドバンド	USB	LSB					
0	05	06	Automatic CW TX with Keying in SSB Mode	SSBモードでのキーイングによるCW送信	Off	On					
0	05	07	Carrier Frequency Offset (SSB Mode to CW Mode)	SSBモードからCWモードへの移行時のキャリア周波数補正	Off	On					
0	05	08	CW Keying Weight Ratio	キーヤーウェイト	Automatic	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	最大4.0 (0.1ステップ)
0	05	09	CW Keying Reversed Weight Ratio	キーヤーオートウェイトリバース	Off	On					
0	05	10	Interrupt Keying	インサートキーイング	Off	On					
0	05	11	CW Message Entry	CWメッセージの登録方法	Text String	Paddle					
0	05	12	Contest Number	コンテストナンバー	0001~9999 (全て4桁の数字)						
0	05	13	Contest Number Format	コンテストナンバースタイル	Off	190 to ANO	190 to ANT	90 to NO	90 to NT		
0	05	14	Channel Number (Count-up Message)	カウントアップメッセージ用チャンネルの指定	Off	Channel 1	Channel 2	Channel 3	Channel 4	Channel 5	006: Channel 6 007: Channel 7 008: Channel 8
0	05	15	CW Rise Time	CWライズタイム	1 [ms]	2 [ms]	4 [ms]	6 [ms]			
0	05	16	CW/ Voice Message Retransmit Interval Time	CW/ボイスメッセージ再送信のリピートインターバル	0 [s]	1 [s]	2 [s]	3 [s]	4 [s]	5 [s]	最大60 [s]
0	06	00	Playback Time (Full-time Recording)	常時録音の再生時間	Last 10 [s]	Last 20 [s]	Last 30 [s]				
0	06	01	Recording with Squelch	スケルチ連動録音	Off	On					
0	06	02	Time-out Timer	最大連続送信時間・タイムアウトタイマー	Off	3 [min]	5 [min]	10 [min]	20 [min]	30 [min]	
0	06	03	TX Inhibit	送信禁止	Off	On					
0	06	04	Transmit Power Step Size	送信出力の微調整	1 [W]	5 [W]					
0	06	05	ID Beep	IDビーブ	Off	1 [min]	2 [min]	3 [min]	4 [min]	5 [min]	最大30 [min]
0	06	06	TX Filter Low Cut (SSB/AM)	送信フィルターのローカット周波数 (SSB/AM)	10 [Hz]	100 [Hz]	200 [Hz]	300 [Hz]	400 [Hz]	500 [Hz]	
0	06	07	TX Filter High Cut (SSB/AM)	送信フィルターのハイカット周波数 (SSB/AM)	2500 [Hz]	2600 [Hz]	2700 [Hz]	2800 [Hz]	2900 [Hz]	3000 [Hz]	
0	06	08	TX Filter Low Cut (SSB-DATA/AM-DATA)	送信フィルターのローカット周波数 (SSB-DATA/AM-DATA)	10 [Hz]	100 [Hz]	200 [Hz]	300 [Hz]	400 [Hz]	500 [Hz]	
0	06	09	TX Filter High Cut (SSB-DATA/AM-DATA)	送信フィルターのハイカット周波数 (SSB-DATA/AM-DATA)	2500 [Hz]	2600 [Hz]	2700 [Hz]	2800 [Hz]	2900 [Hz]	3000 [Hz]	

PCコマンド集

Menu											
P1	P2	P3	機能		P5						
					000	001	002	003	004	005	006 ~
0	06	10	RX Filter Numbers	受信フィルターの設定数	2	3					
0	06	11	Filter Control in SSB Mode (High/Low and Shift/Width)	ハイカット/ローカットとWIDTH/ SHIFTの切り替え(SSB)	High & Low Cut	Shift & Width					
0	06	12	Filter Control in SSB-Data Mode (High/Low and Shift/Width)	ハイカット/ローカットとWIDTH/ SHIFTの切り替え(SSB-DATA)	High & Low Cut	Shift & Width					
0	06	13	VOX Voice Delay (Microphone)	VOX時の音声遅延(MIC)	Off	Short	Middle	Long			
0	06	14	VOX Voice Delay (Except Microphone)	VOX時の音声遅延(MICを除く)	Off	Short	Middle	Long			
0	06	15	Delta Frequency Display	ΔF表示設定	Off	On					
0	07	00	Baud Rate (COM Port)	COMコネクタの通信スピード	4800 [bps]	9600 [bps]	19200 [bps]	38400 [bps]	57600 [bps]	115200 [bps]	
0	07	01	Baud Rate (Virtual Standard COM)	<仮想COM (Standard)> コネクタの通信スピード	9600 [bps]	19200 [bps]	38400 [bps]	57600 [bps]	115200 [bps]		
0	07	02	Baud Rate (Virtual Enhanced COM)	<仮想COM (Enhanced)> コネクタの通信スピード	9600 [bps]	19200 [bps]	38400 [bps]	57600 [bps]	115200 [bps]		
0	07	03	Decoded Character Output	デコード文字出力	Off	On					
0	07	04	Quick Data Transfer	スプリット転送	Off	1 (TX/RX)	1 (Sub RX)	2			
0	07	05	Overwrite Location (Quick Data Transfer)	スプリット転送データの書き込み先	VFO	Quick Memory					
0	07	06	USB: Audio Input Level	USBオーディオの入力レベル	0	1	2	3	4	5	最大100
0	07	07	ACC 2: Audio Input Level	<ACC2>コネクタの入力レベル	0	1	2	3	4	5	最大100
0	07	08	USB: Audio Output Level	USB オーディオ出力レベル	0	1	2	3	4	5	最大100
0	07	09	ACC 2: Audio Output Level	<ACC2>コネクタのオーディオ出力レベル	0	1	2	3	4	5	最大100
0	07	10	TX Monitor Level (Rear Connectors)	背面コネクタに出力する送信モニターレベル	Linked	0	1	2	3	4	最大20
0	07	11	Audio Output Type (Rear Connectors)	背面コネクタからの音声出力形式	All	Received Audio Only					
0	08	00	Bandscope Display during TX	送信時のバンドスコープ表示	Off	On					
0	08	01	TX Audio Waveform Display	送信オーディオ波形表示	Off	On					
0	08	02	Bandscope Maximum Hold	最大ホールド時間	10 [s]	Continuous					
0	08	03	Waterfall when Tuning (Center Mode)	チューニング中のウォーターフォール表示 (センターモード)	Straight	Follow					
0	08	04	Waterfall Gradation Level	ウォーターフォール部分のグラデーション		1	2	3	4	5	最大10
0	08	05	Tuning Assist Line (SSB Mode)	同調補助線表示 (SSBのみ)	Off	300 [Hz]	400 [Hz]	500 [Hz]	600 [Hz]	700 [Hz]	006: 800 [Hz] 007: 1000 [Hz] 008: 1500 [Hz] 009: 2210 [Hz]
0	08	06	Frequency Scale (Center Mode)	センターモードでの周波数スケール	Relative Frequency	Absolute Frequency					
0	08	07	Automatic Correction Step (Touchscreen Tuning)	タッチスクリーンチューニングの自動補正ステップ	100 [Hz]	250 [Hz]	500 [Hz]	1000 [Hz]			
0	09	00	Send Message by Function Keys (USB Keyboard)	USBキーボードのファンクションキー設定	Off	On					

PCコマンド集

Menu											
P1	P2	P3	機能		P5						
					000	001	002	003	004	005	006 ~
0	09	01	Keyboard Language (USB Keyboard)	USBキーボードの言語	Japanese	English (US)	English (UK)	French	French (Canadian)	German	006: Portuguese 007: Portuguese (Brazilian) 008: Spanish 009: Spanish (Latin American) 010: Italian
0	09	02	Repeat Delay Time (USB Keyboard)	USBキーボードのキーリピート遅延時間		1	2	3	4		
0	09	03	Repeat Speed (USB Keyboard)	USBキーボードのキーリピート速度		1	2	3	4	5	最大 32

PCコマンド集

Advanced Menu												
P1	P2	P3	機能		P5							
					000	001	002	003	004	005	006 ~	
1	00	00	Indication Signal Type (External Meter 1)	外部メーター出力1の対象	Automatic	TX Power	ALC	Drain Voltage (Vd)	Compression Level (COMP)	Current (Id)	006: SWR	
1	00	01	Indication Signal Type (External Meter 2)	外部メーター出力2の対象	Automatic	TX Power	ALC	Drain Voltage (Vd)	Compression Level (COMP)	Current (Id)	006: SWR	
1	00	02	Output Level (External Meter 1)	外部メーター出力1のレベル	0 [%]	1 [%]	2 [%]	3 [%]	4 [%]	5 [%]	最大100[%]	
1	00	03	Output Level (External Meter 2)	外部メーター出力2のレベル	0 [%]	1 [%]	2 [%]	3 [%]	4 [%]	5 [%]	最大100[%]	
1	00	04	Reference Signal Source	基準信号の切り替え	Internal	External						
1	00	05	Reference Oscillator Calibration	基準発振器の周波数調整	設定範囲 -500~+500 (1ステップ) に対してパラメーターは 0000~1000							
1	00	06	TX Power Down with Transverter Enabled	トランスバーター機能のパワーダウン	Off	On						
1	00	07	TX Hold After Antenna Tuning	アンテナチューニング終了時の送信保持機能	Off	On						
1	00	08	Antenna Tuner during RX	受信時のアンテナチューナー動作切り替え動作	Off	On						
1	00	09	Antenna Tuner Operation per Band	バンドごとのアンテナチューナー動作	Off	On						
1	00	10	Microphone Gain (FM Mode)	FM マイクゲイン	0	1	2	3	4	5	最大 100	
1	00	11	PKS Polarity Reverse	PKS極性の反転	Off	On						
1	00	12	TX Inhibit While Busy	BUSY中の送信動作禁止	Off	On						
1	00	13	CTCSS Unmute for Internal Speaker	CTCSSのミュート動作	Mute	Unmute						
1	00	14	PSQ Logic State	PSQの論理選択	Low	Open						
1	00	15	PSQ Reverse Condition	PSQの出力条件	Off	Busy	Sql	Send	Busy-Send	Sql-Send		
1	00	16	PSQ/PKS Pin Assignment (COM Connector)	PSQ/PKSモード設定	Off	On						
1	00	17	Virtual Standard COM Port - RTS	仮想COMポート (Standard) のRTS設定	Flow Control	CW Keying	RTTY Keying	PTT	DATA SEND			
1	00	18	Virtual Standard COM Port - DTR	仮想COMポート (Standard) のDTR設定	Off	CW Keying	RTTY Keying	PTT	DATA SEND			
1	00	19	Virtual Enhanced COM Port - RTS	仮想COMポート (Enhanced) のRTS設定	Off	CW Keying	RTTY Keying	PTT	DATA SEND			
1	00	20	Virtual Enhanced COM Port - DTR	仮想COMポート (Enhanced) のDTR設定	Off	CW Keying	RTTY Keying	PTT	DATA SEND			
1	00	21	External Display	外部ディスプレイの出力	Off	On						
1	00	22	Resolution (External Display)	外部ディスプレイの解像度設定	800x600	848x480						
1	00	23	Touchscreen Calibration	タッチスクリーン調整	コマンド非対応							
1	00	24	Software License Agreement	本機のソフトウェアライセンス	コマンド非対応							
1	00	25	Important Notices concerning Free Open Source	本機で利用しているオープンソースの入手方法	コマンド非対応							
1	00	26	About Various Software License Agreements	本機で利用しているGPL/LGPLに関するライセンス	コマンド非対応							
—	00	27	Firmware Version	本機で利用しているファームウェアの統合バージョン	読み出しコマンドのみ可能							

※P2は任意です。

PFキー機能割り当て番号一覧

機能	ID	機能	ID
メニュー直接呼出し		IF FIL	1039
Menu 00-00	0000	LOCK	1040
Menu 00-01	0001	LSB/USB	1041
▼	▼	M.IN	1042
Menu 09-03	0903	M/V, M>V	1043
Advancedメニュー直接呼出し		MAX-Po	1044
Advanced MENU 0	2000	Message Memory CH 1	1045
Advanced MENU 1	2001	Message Memory CH 2	1046
▼	▼	Message Memory CH 3	1047
Advanced MENU 27	2027	Message Memory CH 4	1048
各種機能		Message Memory CH 5	1049
A/B, A=B	1000	Message Memory CH 6	1050
AGC	1001	Message Memory CH 7	1051
AGC OFF	1002	Message Memory CH 8	1052
ANT	1003	METER	1053
APF	1004	MHz	1054
AT	1005	MONI	1055
ATT	1006	Mute (Sub Receiver)	1056
Band Direct (1.8MHz)	1007	NB1	1057
Band Direct (3.5MHz)	1008	NB2	1058
Band Direct (7MHz)	1009	NCH	1059
Band Direct (10MHz)	1010	NR	1060
Band Direct (14MHz)	1011	PLAY	1061
Band Direct (18MHz)	1012	PRE	1062
Band Direct (21MHz)	1013	PROC	1063
Band Direct (24MHz)	1014	Q-M.IN	1064
Band Direct (28MHz)	1015	Q-MR	1065
Band Direct (50MHz)	1016	REC	1066
BC	1017	RIT	1067
Capture	1018	RX ANT	1068
CAR	1019	RX EQ	1069
CL	1020	RX Monitor	1070
Contest Number Decrement	1021	Safe Removal of USB Flash Drive	1071
CW T.	1022	SCAN	1072
CW/CW-R	1023	SCP	1073
DATA	1024	SEND	1074
DATA SEND	1025	SPLIT	1075
DATA VOX	1026	STOP	1076
DIMMER	1027	SWL	1077
DOWN Key(Microphone)	1028	TF-SET	1078
DRV	1029	TX EQ	1079
DSP Monitor	1030	TX TUNE1	1080
Emergency Frequency	1031	TX TUNE2	1081
ESC	1032	UP Key (Microphone)	1082
Extended Memory Channel	1033	VOICE1	1083
FIL CLR	1034	VOICE2	1084
FINE	1035	VOICE3	1085
FM/AM	1036	VOX	1086
FSK/PSK	1037	XIT	1087
GENE	1038	Off	9999

PCコマンド集

FA	VFO Aの周波数										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (周波数) 11桁 単位はHz ※使用しない桁には"0"を入力します。 ・ このコマンドが扱う周波数は、RIT/XIT周波数を加算する前の周波数です。
	F	A	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
P1	P1	P1	;								
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	F	A	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	F	A	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	P1	P1	P1	;							

FB	VFO Bの周波数										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (周波数) 11桁 単位はHz ※使用しない桁には"0"を入力します。 ・ このコマンドが扱う周波数は、RIT/XIT周波数を加算する前の周波数です。
	F	B	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
P1	P1	P1	;								
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	F	B	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	F	B	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	P1	P1	P1	;							

FC	周波数変更(同調ツマミ)										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (変更方向) 0: Up 1: Down P2 (変更サイズ) 0: 同調ツマミ操作時の周波数ステップ 1: 同調ツマミ操作時の周波数ステップの2倍 2: 同調ツマミ操作時の周波数ステップの5倍 3: 同調ツマミ操作時の周波数ステップの10倍 4: 同調ツマミ操作時の周波数ステップの50倍 5: 同調ツマミ操作時の周波数ステップの100倍
	F	C	P1	P2	;						

FLO	受信フィルター選択										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (受信フィルター選択) 0: A 1: B 2: C ※ メニュー[6-10](フィルター選択数)が「2」に設定されている場合は、Cを選択することはできません。 P2 (270Hzオプション) 0: 装着無し 1: 装着有り
	F	L	0	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	F	L	0	P1	;						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	F	L	0	P1	P2	;					

PCコマンド集

FL1	ルーフィングフィルター										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (受信フィルター選択) 0: A 1: B 2: C ※ メニュー[6-10] (フィルター選択数) が「2」に設定されている場合は、Cを選択することはできません。
	F	L	1	P1	P2	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (ルーフィングフィルター選択) 0: Auto 1: 270 Hz 2: 500 Hz 3: 2.7 kHz 4: 6 kHz 5: 15 kHz 9: 初期値設定 (設定コマンドのみ) ※ FMモードでは15 kHz固定のため設定できません。
	F	L	1	P1	;						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P3 (選択されているルーフィングフィルターの帯域幅) 0027 ~ 1500 (単位: 10Hz) ※ P2でAutoが選択されているときに、受信回路で実際に選択されているルーフィングフィルターの帯域幅を、このパラメーターで知ることができます。
	F	L	1	P1	P2	P3	P3	P3	P3	;	

FL2	IFフィルターシェープ										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (受信フィルター選択) 0: A 1: B 2: C ※ メニュー[6-10] (フィルター選択数) が「2」に設定されている場合は、Cを選択することはできません。
	F	L	2	P1	P2	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (IFフィルターシェープ選択) 0: Sharp 1: Medium 2: Soft 3: 無し (FMモード時のみ) 9: 初期値設定 (設定コマンドのみ) ※ FMモード時は読み出しのみです。
	F	L	2	P1	;						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	F	L	2	P1	P2	;					

FL3	AFフィルタータイプ										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (受信フィルター選択) 0: A 1: B 2: C ※ メニュー[6-10] (フィルター選択数) が「2」に設定されている場合は、Cを選択することはできません。
	F	L	3	P1	P2	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (AFフィルタータイプ選択) 0: Narrow 1: Medium 2: Wide 9: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	F	L	3	P1	;						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	F	L	3	P1	P2	;					

FMO	周波数マーカ機能										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 周波数マーカ表示 OFF 1: 周波数マーカ表示 ON
	F	M	0	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	F	M	0	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	F	M	0	P1	;						

PCコマンド集

FM1		周波数マーカーリストへの登録										パラメーター:
設定 1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (周波数マーカーリストに追加する周波数) 周波数(11桁) ※未使用の上位桁には“0”を設定します。	
	F	M	1	;								
設定 2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	<ul style="list-style-type: none"> 設定1コマンドを使うと、現在表示している受信周波数を登録することができます。 設定2コマンドを使うと、指定した周波数を登録することができます。 登録総数が50に達している場合は、新規に登録することはできません。 既に登録済の周波数を登録することはできません。 	
	F	M	1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1		
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
	P1	P1	P1	P1	;							

FM2		周波数マーカーリストの登録総数										パラメーター:
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (登録総数) 00～50	
	F	M	2	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	F	M	2	P1	P1	;						

FM3		周波数マーカーリストの読み出し										パラメーター:
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (リスト番号) 01～50 ※リスト番号は無線機では表示されません。上から順に01, 02, …として扱います。	
	F	M	3	P1	P1	;						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 指定されたリスト番号の周波数(11桁) ※未使用の上位桁には“0”を設定します。	
	F	M	3	P1	P1	P2	P2	P2	P2	P2		
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
	P2	P2	P2	P2	P2	P2	;					
											<ul style="list-style-type: none"> P1に登録総数を超過したリスト番号を指定した場合、P2は全桁0で読み出されます。 AI機能がONの場合でも、このコマンドは自動応答しません。 	

FM4		周波数マーカーリストの消去										パラメーター:
設定 1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (リスト番号) 01～50 ※リスト番号は無線機では表示されません。上から順に01, 02, …として扱います。	
	F	M	4	;								
設定 2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 リストから消去する周波数(11桁) ※未使用の上位桁には“0”を設定します。	
	F	M	4	P1	P1	;						
設定 3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	<ul style="list-style-type: none"> 設定1コマンドを使うと、登録されている全ての周波数を消去することができます。 設定2コマンドを使うと、指定したリスト番号の周波数のみを消去することができます。 設定3コマンドを使うと、指定した周波数のみをリストから削除することができます。指定した周波数がリストに登録されていない場合はエラーとなります。 	
	F	M	4	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2		
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
	P2	P2	P2	P2	;							

FR		受信ファンクション (VFO A/ VFO B/ メモリーチャンネル)										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: VFO A 1: VFO B 2: メモリーチャンネル	
	F	R	P1	;								
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	<ul style="list-style-type: none"> このコマンドで受信ファンクションをVFO AまたはVFO Bに切り替えると、指定したVFOのシンプレックスモードになります。 このコマンドで受信ファンクションをメモリーチャンネルに切り替えると、呼び出されたチャンネルに応じて、シンプレックスモードまたはスプリットモードに切り替わります。 	
	F	R	;									
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	F	R	P1	;								

PCコマンド集

FS	FINE機能										パラメーター: P1 (FINE機能設定) 0: FINE機能OFF 1: FINE機能ON									
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	F	S	P1	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	F	S	;							
	応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	F	S	P2	P3	;				

FT	送信ファンクション (VFO A/ VFO B)										パラメーター: P1 0: VFO A 1: VFO B 2: メモリーチャンネル (応答のみ) • 送信ファンクションを、受信ファンクションと異なるVFOに指定することで、スプリットモードにできます。 • メモリーチャンネルモードでは、このコマンドによる送信ファンクションの切り替えはできません。									
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	F	T	P1	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	F	T	;							
	応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	F	T	P1	;					

FV	ファームウェアバージョン										パラメーター: P1 ファームウェアバージョン文字列 • 例: FV1.00; (バージョン1.00)									
	読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	F	V	;					
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	F	V	P1	P1	P1	P1	;			

FW	FMノーマル/ナロー										パラメーター: P1 (読み出し/応答対象) <u>シンプレックスの場合</u> 0: 左側の周波数表示エリアのノーマル/ナロー設定情報 <u>スプリットの場合 (TF-SET時を含む)</u> 0: 左側の周波数表示エリアのノーマル/ナロー設定情報 1: 右側の周波数表示エリアのノーマル/ナロー設定情報 ※設定コマンドでは無効です。任意の値をセットします。 P2 (ノーマル/ナロー) 0: ノーマル 1: ナロー • 設定、読み出しともFMモード時のみ有効です。									
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	F	W	P1	P2	;			
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	F	W	P1	;						
	応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	F	W	P1	P2	;				

GC	AGC時定数選択										パラメーター: P1 0: AGC OFF 1: AGC SLOW 2: AGC MID 3: AGC FAST 4: AGC OFF→ON (設定コマンドのみ) • FMモードでは設定、読み出しはできません。 • 設定コマンドでOFF→ONを指定した場合、前回のSLOW/MID/FAST選択状態に戻ります。									
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	G	C	P1	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	G	C	;							
	応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	G	C	P1	;					

PCコマンド集

GT		AGC時定数プリセット									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (SLOWの時定数プリセット値) 01 ~ 20 99: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	G	T	P1	P1	P2	P2	P3	P3	;		
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (MIDの時定数プリセット値) 01 ~ 20 99: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	G	T	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P3 (FASTの時定数プリセット値) 01 ~ 20 99: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	G	T	P1	P1	P2	P2	P3	P3	;		
<ul style="list-style-type: none"> AGCがOFF時でも設定と読み出しが可能です。 FMモードでは設定、読み出しはできません。 											

ID		機種ID									パラメーター:
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 024: TS-890
	I	D	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	I	D	P1	P1	P1	;					

IPO		DHCP									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (DHCPのON/OFF) 0: DHCP OFF 1: DHCP ON
	I	P	0	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 ~ P5 (IPアドレス (各3桁の数字)) 001.000.000.000 ~ 223.255.255.255 : IPアドレス (DHCPがONでIPアドレス未取得の場合は全てハイフン ---.---.---.---)
	I	P	0	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	<ul style="list-style-type: none"> DHCPがONのときは自動取得したIPアドレスを応答し、DHCPがOFFのときは設定されている固定IPアドレスを応答します。
	I	P	0	P1	P2	P2	P2	P3	P3	P3	
	P4	P4	P4	P5	P5	P5	;				

PCコマンド集

IP1		IPアドレス(手動設定項目)										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1～P4 (IPアドレス(各3桁の数字)) 001.000.000.000～223.255.255.255 P5～P8 (サブネットマスクアドレス(各3桁の数字)) 000.000.000.000～255.255.255.252 P9～P12 (デフォルトゲートウェイアドレス(各3桁の数字)) 001.000.000.000～223.255.255.255 ※ 設定しない場合は全てブランクにします。 P13～P16 (優先DNSサーバーアドレス(各3桁の数字)) 001.000.000.000～223.255.255.255 ※ 設定しない場合は全てブランクにします。 P17～P20 (代替DNSサーバーアドレス(各3桁の数字)) 001.000.000.000～223.255.255.255 ※ 設定しない場合は全てブランクにします。	
	I	P	1	P1	P1	P1	P2	P2	P2	P3		
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
	P3	P3	P4	P4	P4	P5	P5	P5	P6	P6		
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	P6	P7	P7	P7	P8	P8	P8	P9	P9	P9		
	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40		
	P10	P10	P10	P11	P11	P11	P12	P12	P12	P13		
	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50		
	P13	P13	P14	P14	P14	P15	P15	P15	P16	P16		
	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60		
	P16	P17	P17	P17	P18	P18	P18	P19	P19	P19		
	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70		
	P20	P20	P20	;								
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	I	P	1	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	I	P	1	P1	P1	P1	P2	P2	P2	P3		
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
	P3	P3	P4	P4	P4	P5	P5	P5	P6	P6		
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	P6	P7	P7	P7	P8	P8	P8	P9	P9	P9		
	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40		
	P10	P10	P10	P11	P11	P11	P12	P12	P12	P13		
	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50		
	P13	P13	P14	P14	P14	P15	P15	P15	P16	P16		
	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60		
	P16	P17	P17	P17	P18	P18	P18	P19	P19	P19		
	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70		
	P20	P20	P20	;								

IP2		MACアドレス										パラメーター:
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1～P6 (2桁の16進数) 00～FF ※ A～Fのアルファベットは大文字を使用します。	
	I	P	2	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	I	P	2	P1	P1	P2	P2	P3	P3	P4		
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
	P4	P5	P5	P6	P6	;						

PCコマンド集

IS		受信フィルターのシフト周波数									パラメーター:																																																																																
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 +: プラス方向 -: マイナス方向 ※ プラス方向の場合はスペースも可。 ※ シフト周波数が0Hzの場合は+, -, スペースのいずれも使用できません。 P2 シフト周波数を4桁で指定する(単位=Hz) 例) 800Hz = 0800 ※ 設定可能なシフト周波数は下表を参照します。設定コマンドでこれ以外のシフト周波数を指定した場合、設定可能なシフト周波数に補正されます。 ※ 設定コマンドで9999を指定した場合は初期値が設定されます。(P1は+, -, スペースのいずれも使用できます。)																																																																																
	I	S	P1	P2	P2	P2	P2	;																																																																																			
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																																																																	
	I	S	;																																																																																								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																																																																	
	I	S	P1	P2	P2	P2	P2	;																																																																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">SSBのシフト周波数範囲(Hz)</th> <th colspan="4">CWのシフト周波数範囲(Hz)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">50~2500</td> <td colspan="4">50ステップ</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td colspan="4"></td> </tr> </tbody> </table>												SSBのシフト周波数範囲(Hz)				CWのシフト周波数範囲(Hz)				50~2500				50ステップ																																																																			
SSBのシフト周波数範囲(Hz)				CWのシフト周波数範囲(Hz)																																																																																							
50~2500				50ステップ																																																																																							

KS		キーイングスピード									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 004 ~ 060
	K	S	P1	P1	P1	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	K	S	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	K	S	P1	P1	P1	;					

PCコマンド集

KY	文字列のCWキーイング										パラメーター:																																																																																									
設定 1	1	2	3	4~	x						P1 (キーイング文字列バッファの状態) 設定1コマンドでは必ずスペースまたは「2」を入力します。 設定2コマンドでは「0」を入力すると、設定1コマンドによるキーイングを停止します。0以外の値は受け付けません。 応答コマンドでは以下の値が応答されます。 0: バッファ空き有り 1: バッファ空き無し P2 (キーイングする文字列 (1文字~24文字)) 下記の文字が入力できます。																																																																																									
	K	Y	P1	P2	;																																																																																															
設定 2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																																																																										
	K	Y	P1	;																																																																																																
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																																																																										
	K	Y	;																																																																																																	
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																																																																										
	K	Y	P1	;																																																																																																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td><td>F</td><td>G</td><td>H</td><td>I</td><td>J</td></tr> <tr><td>K</td><td>L</td><td>M</td><td>N</td><td>O</td><td>P</td><td>Q</td><td>R</td><td>S</td><td>T</td></tr> <tr><td>U</td><td>V</td><td>W</td><td>X</td><td>Y</td><td>Z</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>a</td><td>b</td><td>c</td><td>d</td><td>e</td><td>f</td><td>g</td><td>h</td><td>i</td><td>j</td></tr> <tr><td>k</td><td>l</td><td>m</td><td>n</td><td>o</td><td>p</td><td>q</td><td>r</td><td>s</td><td>t</td></tr> <tr><td>u</td><td>v</td><td>w</td><td>x</td><td>y</td><td>z</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr> <tr><td>(space)</td><td>'</td><td>"</td><td>(</td><td>)</td><td>*</td><td>+</td><td>,</td><td>-</td><td></td></tr> <tr><td>.</td><td>/</td><td>:</td><td>=</td><td>?</td><td>@</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	(space)	'	"	()	*	+	,	-		.	/	:	=	?	@				
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J																																																																																											
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T																																																																																											
U	V	W	X	Y	Z																																																																																															
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j																																																																																											
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t																																																																																											
u	v	w	x	y	z																																																																																															
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9																																																																																											
(space)	'	"	()	*	+	,	-																																																																																												
.	/	:	=	?	@																																																																																															
8種類の略符号は以下のように割り当てられます:																																																																																																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>略符号</th> <th>記号</th> <th>略符号</th> <th>記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BT</td> <td>[</td> <td>SK</td> <td>></td> </tr> <tr> <td>AR</td> <td>_</td> <td>KN</td> <td>]</td> </tr> <tr> <td>AS</td> <td><</td> <td>BK</td> <td>\</td> </tr> <tr> <td>HH</td> <td>#</td> <td>SN</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>											略符号	記号	略符号	記号	BT	[SK	>	AR	_	KN]	AS	<	BK	\	HH	#	SN	%																																																																						
略符号	記号	略符号	記号																																																																																																	
BT	[SK	>																																																																																																	
AR	_	KN]																																																																																																	
AS	<	BK	\																																																																																																	
HH	#	SN	%																																																																																																	
<ul style="list-style-type: none"> • パラメーターP1にスペースをセットした場合、パラメーターP2は24バイトの固定長になります。文字の不足分はスペースを入力します。ただし、スペースはモールスコードに変換されません。連続してセットされたスペースは、単一のスペースとしてキーイングされます。 • パラメーターP1に「2」をセットした場合、パラメーターP2は最大24バイトの変長になります。連続してセットされたスペースは、連続したスペースとしてキーイングされます。 • パラメーターP2は小文字入力もできますが、出力されるモールス信号には、大文字と小文字の区別はありません。 • パラメーターP2に「;」(セミコロン)は使用できません。 																																																																																																				

LA0	リニアアンプメニューの対象バンド										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: HF 1: 50 MHz
	L	A	0	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	A	0	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	A	0	P1	;						

LA1	リニアアンプのON/OFF										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: リニアアンプ OFF 1: リニアアンプ ON 9: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	L	A	1	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	A	1	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	A	1	P1	;						

PCコマンド集

LA2		リニアアンプ送信制御									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: Active Low 1: Active High 9: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	L	A	2	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	A	2	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	A	2	P1	;						

LA3		リニアアンプ送信ディレイのON/OFF									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 送信ディレイ OFF 1: 送信ディレイ ON 9: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	L	A	3	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	A	3	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	A	3	P1	;						

LA4		リニアアンプ送信ディレイ時間									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (運用モード) 0: CW/FSK/PSK 1: SSB/FM/AM P2 (送信ディレイ時間) 00: 5 ms 01: 10 ms 02: 15 ms 03: 20 ms 04: 25 ms 05: 30 ms 06: 35 ms 07: 40 ms 08: 45 ms (P1がSSB/FM/AMの場合のみ) 09: 50 ms (P1がSSB/FM/AMの場合のみ) 99: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	L	A	4	P1	P2	P2	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	A	4	P1	;						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	A	4	P1	P2	P2	;				

LA5		リニアアンプリレー制御									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: リレー制御 OFF 1: リレー制御 ON 9: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	L	A	5	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	A	5	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	A	5	P1	;						

PCコマンド集

LA6		リニアアンプの外部ALC電圧									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 00: -1 V 01: -2 V 01: -2 V 02: -3 V 03: -4 V 04: -5 V 05: -6 V 06: -7 V 07: -8 V 08: -9 V 09: -10 V 10: -11 V 11: -12 V 99: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	L	A	6	P1	P1	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	A	6	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	A	6	P1	P1	;					

LK		ロック									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: ロック OFF 1: ロック ON
	L	K	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	K	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	K	P1	;							

LM		ボイスメッセージの録音									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (録音チャンネル) 1: CH 1 2: CH 2 3: CH 3 4: CH 4 5: CH 5 6: CH 6 P2 (動作) 0: 録音終了または中止 1: 録音待機 2: 録音開始または動作中 3: 消去 P3 (録音経過時間) 000 ~ 100 (s) • ボイスメッセージリスト表示がOFFのときは無効です (ボイスメッセージリスト表示のON/OFFはPB0コマンドで操作します)。 • 録音の開始は、録音待機状態からのみ可能です。
	L	M	P1	P2	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	M	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	M	P1	P2	P3	P3	P3	;			

LPO		送信出力リミッター (現在の設定値の読み出し)									パラメーター:
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (送信パワー上限) 005 ~ 100 (W) • 現在の送信周波数およびモードに応じたパワー上限値を応答します。
	L	P	0	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	P	0	P1	P1	P1	;				

PCコマンド集

LP1		送信出力リミッターの設定										パラメーター:
設定		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (設定種別) 0: SSBモード時の送信パワー上限設定 1: CWモード時の送信パワー上限設定 2: FSK/PSKモード時の送信パワー上限設定 3: FM/AMモード時の送信パワー上限設定 4: DATAモード時の送信パワー上限設定 5: TXチューニング時の送信パワー上限設定
	L	P	1	P1	P2	P2	P3	P3	P3	P3	;	
読み出し		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (周波数帯指定) 00: 1.8 MHz帯 01: 3.5 MHz帯 02: 5 MHz帯 03: 7 MHz帯 04: 10 MHz帯 05: 14 MHz帯 06: 18 MHz帯 07: 21 MHz帯 08: 24 MHz帯 09: 28 MHz帯 10: 50 MHz帯
	L	P	1	P1	P2	P2	;					
応答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P3 (送信パワー上限) 005 ~ 100 (W) 999: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	L	P	1	P1	P2	P2	P3	P3	P3	P3	;	

LP2		送信出力リミッターのON/OFF										パラメーター:
設定		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 送信出力リミッター OFF 1: 送信出力リミッター ON
	L	P	2	P1	;							
読み出し		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	P	2	;								
応答		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	L	P	2	P1	;							

PCコマンド集

MA0		メモリーチャンネルの設定										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (チャンネル番号) 000~119 ※ CH.P0~P9は100~109、CH.E0~E9は110~119に相当します。 P2 (周波数情報 (11桁)) ※未使用の上位桁には“0”をセットします。 P3 (モード情報) ※ OMコマンドのP2を参照 P4 (FMノーマル/ナロー情報) 0: ノーマル 1: ナロー P5 (FMトーン機能種別) 0: OFF 1: トーン 2: CTCSS 3: クロストーン P6 (トーン周波数) ※ TNコマンドのP1を参照 P7 (CTCSS周波数) ※ CNコマンドのP1を参照 P8 (スプリット送信周波数情報 (11桁)) ※未使用の上位桁には“0”が設定されます。 P9 (スプリット送信モード情報) ※OMコマンドのP2を参照 P10 (スプリット送信時のFMノーマル/ナロー情報) 0: ノーマル 1: ナロー P11 (スプリット情報) 0: シンプレックス 1: スプリット P12 (スキャンロックアウト) 0: ロックアウト OFF 1: ロックアウト ON P13 (チャンネルネーム) 最大10文字	
	M	A	0	P1	P1	P1	P2	P2	P2	P2		
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P3	P4	P5		
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	P6	P6	P7	P7	P8	P8	P8	P8	P8	P8		
	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40~		
	P8	P8	P8	P8	P8	P9	P10	P11	P12	P13		
		x										
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P12 (スキャンロックアウト) 0: ロックアウト OFF 1: ロックアウト ON P13 (チャンネルネーム) 最大10文字	
	M	A	0	P1	P1	P1	;					
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (チャンネル番号) 000~119 ※ CH.P0~P9は100~109、CH.E0~E9は110~119に相当します。 P2 (周波数情報 (11桁)) ※未使用の上位桁には“0”をセットします。 P3 (モード情報) ※ OMコマンドのP2を参照 P4 (FMノーマル/ナロー情報) 0: ノーマル 1: ナロー P5 (FMトーン機能種別) 0: OFF 1: トーン 2: CTCSS 3: クロストーン P6 (トーン周波数) ※ TNコマンドのP1を参照 P7 (CTCSS周波数) ※ CNコマンドのP1を参照 P8 (スプリット送信周波数情報 (11桁)) ※未使用の上位桁には“0”が設定されます。 P9 (スプリット送信モード情報) ※OMコマンドのP2を参照 P10 (スプリット送信時のFMノーマル/ナロー情報) 0: ノーマル 1: ナロー P11 (スプリット情報) 0: シンプレックス 1: スプリット P12 (スキャンロックアウト) 0: ロックアウト OFF 1: ロックアウト ON P13 (チャンネルネーム) 最大10文字	
	M	A	0	P1	P1	P1	P2	P2	P2	P2		
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P3	P4	P5		
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	P6	P6	P7	P7	P8	P8	P8	P8	P8	P8		
	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40~		
	P8	P8	P8	P8	P8	P9	P10	P11	P12	P13		
		x										
P13	;											

MA1		メモリーチャンネル(ダイレクト書き込み)										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (周波数情報 (11桁)) ※未使用の上位桁には“0”を入力します。 P2 (モード情報) ※OMコマンドのP2を参照。 P3 (FMノーマル/ナロー情報) 0: ノーマル 1: ナロー ※ FMモード以外ではこのパラメーターは無視されます。	
	M	A	1	P1	P1	P1	P1	P1	P1	P1		
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
	P1	P1	P1	P1	P2	P3	;				<ul style="list-style-type: none"> このコマンドを使うと指定されたメモリーチャンネルのFrequency1の情報が更新されます。 未登録の区間指定メモリーチャンネルに書き込むと、開始周波数と終了周波数が同じ周波数として登録されます。 登録済の区間指定メモリーチャンネルに書き込む場合、指定した周波数が登録済の区間内であればこのコマンドを受け付け、現在の運用周波数として記憶されます。開始/終了周波数は書き換わりません。 AI機能がONのときは、無線機はMA0コマンドで応答します。 	

PCコマンド集

MA2	メモリーチャンネル(チャンネルネーム)									パラメーター: P1(チャンネル番号) 000~119 ※ CH.P0~P9は100~109、CH.E0~E9は110~119に相当します。 P2(未使用(1桁)) スペース固定 P3(ネーム) 最大10文字 ・ 空きチャンネルへの設定はエラーとなります。 ・ AI機能がONのときは、無線機はMA0コマンドで応答します。
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8~	
	M	A	2	P1	P1	P1	P2	P3	;	

MA3	メモリーチャンネル(スキャンロックアウト)										パラメーター: P1(チャンネル番号) 000~119 ※ CH.P0~P9は100~109、CH.E0~E9は110~119に相当します。 P2(スキャンロックアウト) 0: ロックアウト OFF 1: ロックアウト ON ・ 空きチャンネルへの設定はエラーとなります。 ・ AI機能がONのときは、無線機はMA0コマンドで応答します。
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	M	A	3	P1	P1	P1	P2	;			

MA4	メモリーチャンネル(チャンネルコピー)										パラメーター: P1(コピー元チャンネル番号) 000~119 ※ CH.P0~P9は100~109、CH.E0~E9は110~119に相当します。 P2(コピー先チャンネル番号) 000~119 ※ CH.P0~P9は100~109、CH.E0~E9は110~119に相当します ・ コピー元が空きチャンネルまたは区間指定チャンネルの場合はコピーできません。
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	M	A	4	P1	P1	P1	P2	P2	P2	;	

MA5	メモリーチャンネル(チャンネル消去)										パラメーター: P1(チャンネル番号) 000~119 ※ CH.P0~P9は100~109、CH.E0~E9は110~119に相当します。
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	M	A	5	P1	P1	P1	;				

MA6	区間指定メモリーチャンネルの終了周波数登録										パラメーター: P1(区間指定メモリーチャンネル番号) 100~109 ※ CH.P0~P9は100~109に相当します。 P2(終了周波数(11桁)) ※未使用の上位桁には“0”をセットします。 ・ 空きチャンネルへの書き込みはできません。 ・ 区間指定メモリーチャンネルの新規登録はMA1コマンドまたはMIコマンドを使用します(このとき開始周波数と終了周波数は同じ周波数になります)。 ・ AI機能がONのときは、無線機はMA0コマンドで応答します。	
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10
		M	A	6	P1	P1	P1	P2	P2	P2		P2
		11	12	13	14	15	16	17	18	19		20
	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	;				

PCコマンド集

MA7	メモリーチャンネル(周波数の一時変更)										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (読み出し/ 応答の対象となる周波数(読み出し/ 応答のみ)) 0: 左側の周波数表示エリアに表示している周波数 1: 右側の周波数表示エリアに表示している周波数(スプリットチャンネルの場合のみ) P2 (周波数(11桁)) 単位はHz。 ※未使用の上位桁には“0”をセットします。 ※未登録のメモリーチャンネルが呼び出されているときの応答は全桁スペース。
	M	A	7	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (周波数(11桁)) 単位はHz。 ※未使用の上位桁には“0”をセットします。 ※未登録のメモリーチャンネルが呼び出されているときの応答は全桁スペース。
	M	A	7	P1	;						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	<ul style="list-style-type: none"> • このコマンドは、メモリーチャンネルモードにおいて、現在呼び出している(表示している)チャンネルの周波数の一時変更、および表示周波数の読み出しのために使用します。 • このコマンドが扱う周波数は、RIT/XIT周波数を加算する前の周波数です。 • 区間指定メモリーチャンネルでは登録された周波数範囲内で設定可能です。 • 空きチャンネルに対しての設定はできません。 • メニュー[4-01]“Temporary Change (Memory Channel Configurations)”の設定状態に関わらず、このコマンドによる周波数の一時変更は可能です。 • AI機能がONのときは、VFOモードからメモリーチャンネルモードに切り替えたときと、メモリーチャンネルを切り替えたときにも応答コマンドを出力します。
	M	A	7	P1	P2	P2	P2	P2	P2	P2	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	P2	P2	P2	P2	P2	;					

MEO	ポップアップメッセージ1										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (メッセージID(3桁)) メッセージID一覧表を参照 P2 (メッセージに対する操作)
	M	E	0	P1	P1	P1	P2	P3	;		
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	0: [ESC]を押す操作 1: [F1]を押す操作 2: [F2]を押す操作 3: [F3]を押す操作 4: [F4]を押す操作 5: [F5]を押す操作 6: [F6]を押す操作 7: [F7]を押す操作 P3 (キー操作)
	M	E	0	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	0: キーを押す操作 1: キーを長く押す操作(長く押すキーが存在する画面でのみ有効) 2: キーを離す操作 ※ボイスメッセージ録音中画面で[F-REC]を押して離すときのみ使います。
	M	E	0	P1	P1	P1	;				
											<ul style="list-style-type: none"> • 設定コマンドにおいてP2で指定するFキーの動作は、メッセージごとに異なります。動作の割り当てがされていないFキーを押す操作をした場合でも「?;」は応答されません。

メッセージID	画面
000	メッセージ画面無し(表示終了)
001	非常連絡設定周波数呼び出し画面
002	送信出力リミッターOFF確認画面
003	イコライザーコピー確認画面
004	クイックメモリー全削除確認画面
005	CWメッセージ(パドル)登録待機画面
006	CWメッセージ登録中画面
007	ボイスメッセージ録音待機画面
008	ボイスメッセージ録音中画面
009	ボイスメッセージ再生中画面
010	ボイスメッセージ再生送信中画面
011	オーディオファイル再生中画面
012	オーディオファイル再生NG画面

PCコマンド集

メッセージID	画面
013	ファイル削除確認画面
014	未使用
015	COMコネクタ動作変更画面(通常モード)
016	COMコネクタ動作変更画面(PSQ/PKSモード)
017	プログラムタイマー設定完了画面
018	時計未設定画面
019	未使用
020	NTP時刻取得成功画面
021	NTP時刻取得失敗画面
022~ 024	未使用
025	データ読み込み完了画面
026	データ読み込み完了(再起動)画面
027	読み込みファイルNG画面
028	データ読み込み失敗画面
029~ 033	未使用
034	USBメモリー準備要求画面
035	データ保存完了画面
036	フォーマット確認画面
037	アンマウント確認画面1
038	アンマウント完了画面
039	リセット実行確認画面(スタンダード)
040	リセット実行確認画面(フル)
041	リセット実行確認画面(VFO)
042	リセット実行確認画面(メモリー)
043	リセット実行確認画面(メニュー)
044	リセット実行中画面
045	処理中画面(NTP取得および設定データ書き出しを除く全般)
046	処理中画面(NTP取得の遷移時のみ)
047	USBメモリー検出エラー画面
048	USBメモリー保存失敗画面
049	メモリー容量不足画面
050	Program Timer曜日未指定画面
051	Program Timer時間超過画面
052	Program Timer同一時刻画面
053	未使用
057	フォーマット失敗画面
058	運用環境データの切り替え画面
059	ファイルの削除失敗画面
060	アンマウント失敗画面
061	ファームウェアファイル転送中画面
062	ファームウェアファイル検出エラー画面
063	新ファームと旧ファームの不整合によるデータ読み込みエラー画面
064	ファームウェア書き換え失敗画面
065	ファームウェアアップデート成功画面
066	未使用
067	ファイルアクセス失敗画面
068	表示制限通知画面
069	未使用

PCコマンド集

メッセージID	画面
070	ファイル保存先変更エラー(録音中)画面
071	ファイル保存先変更エラー(CW通信ログ記録中)画面
072	ファイル保存先変更エラー(RTTY通信ログ記録中)画面
073	ファイル保存先変更エラー(PSK通信ログ記録中)画面
074	コピー項目未指定画面
075	コピー準備中画面
076	PCからのコピー待機画面
077	録音中にコピーできない通知画面
078	CW通信ログ記録中にコピーできない通知画面
079	RTTY通信ログ記録中にコピーできない通知画面
080	PSK通信ログ記録中にコピーできない通知画面
081	KNSログ記録中にコピーできない通知画面
082	ファイル一括削除確認画面
083	削除項目未指定画面
084	画像ファイル読み込み確認画面
085	録音中に削除できない通知画面
086	CW通信ログ記録中に削除できない通知画面
087	RTTY通信ログ記録中に削除できない通知画面
088	PSK通信ログ記録中に削除できない通知画面
089	KNSログ記録中に削除できない通知画面
090	アンマウント確認画面2
091	ファイル数超過によるコピー中止画面

ME1	ポップアップメッセージ2										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1(メッセージID(3桁)) メッセージID一覧表を参照 P2(メッセージに対する操作)
	M	E	1	P1	P1	P1	P2	P3	;		
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	0: [ESC]を押す操作 1: [F1]を押す操作 2: [F2]を押す操作 3: [F3]を押す操作 4: [F4]を押す操作 5: [F5]を押す操作 6: [F6]を押す操作 7: [F7]を押す操作
	M	E	1	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P3(キー操作) 0: キーを押す操作 1: キーを長く押す操作
	M	E	1	P1	P1	P1	;				
											<ul style="list-style-type: none"> 設定コマンドにおいてP2で指定するFキーの動作は、メッセージごとに異なります。動作の割り当てがされていないFキーを押す操作をした場合でも「?;」は応答しません。 ME1コマンドで通知されるメッセージは、ME0コマンドで通知されるメッセージと同時に通知される場合があります。その場合、ME1で通知されるメッセージが優先的に表示されます。

PCコマンド集

メッセージID	画面
000	メッセージ画面無し(表示終了)
001	プログラムタイマー開始時刻接近画面
002	プログラムタイマー録音中画面
003	USBバスパワーエラー画面
004	温度プロテクション画面
005	周波数アンロック画面
006	高温による送信プロテクション画面
007	基準信号入力エラー画面
008	未使用
009	バックアップデータ破損検出画面
010 ~ 021	DSPエラー検出画面
022	未使用
023	ハードウェアエラー検出画面
024	ディスプレイのカラー調整画面
025	タイマー電源OFF画面

MF	運用環境 (CONFIG)										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: CONFIG A 1: CONFIG B ・ 運用環境切り替えを実行したとき、無線機の再起動によりAI機能がOFFになるため、MFコマンドは自動応答に対応しません。
	M	F	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	F	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	F	P1	;							

MG	マイクゲイン										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 000~100 ・ FMモードのマイクゲインはアドバンスメニューで設定します。(EXコマンドを参照)
	M	G	P1	P1	P1	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	G	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	G	P1	P1	P1	;					

MH	MHzステップ機能										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: MHzステップ機能 OFF 1: MHzステップ機能 ON
	M	H	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	H	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	H	P1	;							

MI	メモリーチャンネル登録										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (チャンネル番号) 000 ~ 119 ※ CH.P0~P9は100~109、CH.E0~E9は110~119に相当します。 ・ 空きチャンネルが呼び出された状態では、メモリーチャンネルの登録ができません。 ・ 区間指定メモリーチャンネルでは、開始周波数と終了周波数が同じ周波数として登録されます。終了周波数はMA6コマンドで設定します。
	M	I	P1	P1	P1	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	I	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	I	P1	;							

PCコマンド集

MK	モードキーの操作										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: [LSB/USB]キー 1: [CW/CW-R]キー 2: [FSK/PSK]キー 3: [FM/AM]キー 4: [FSK-R]キー 5: [PSK-R]キー ※[FSK-R]キー、[PSK-R]キーはPCコマンド制御用の仮定のキーです。 ・無線機に各モードキーを押したときの動作をさせるためのコマンドです。 ・現在のモードを読み出すためにはOMコマンドを使用します。
	M	K	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	L	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	L	P1	P1	P1	;					

ML	送信モニターレベル										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 000~020
	M	L	P1	P1	P1	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	L	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	L	P1	P1	P1	;					

MN	メモリーチャンネルNo.										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (チャンネル番号) 000 ~ 119 ※ CH.P0~P9は100~109、CH.E0~E9は110~119に相当します。
	M	N	P1	P1	P1	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	N	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	N	P1	P1	P1	;					

MO0	送信モニター										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 送信モニターOFF 1: 送信モニターON
	M	O	O	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	O	O	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	O	O	P1	;						

MO1	受信モニター										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 受信モニターOFF 1: 受信モニターON
	M	O	1	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	O	1	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	O	1	P1	;						

PCコマンド集

MO2	DSPモニター										パラメーター: P1 0: DSPモニターOFF 1: DSPモニターON									
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	M	O	2	P1	;			
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	M	O	2	;						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	M	O	2	P1	;					

MS	送信音声入力音源選択										パラメーター: P1 (送信手段) 0: SEND/PTT 1: DATA SEND (PF) P2 (Front) 0: OFF 1: マイクホン P3 (Rear) 0: OFF 1: ACC 2 2: USB Audio 3: LAN <ul style="list-style-type: none"> • P2とP3を同時にOFFすることはできません。 • 設定コマンドにおいて、P2、P3の両方に9をセットすると、P1で指定された送信手段における送信音源選択は初期値に設定されます。 									
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	M	S	P1	P2	P3	;		
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	M	S	P1	;						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	M	S	P1	P2	P3	;				

MT	メーター選択										パラメーター: P1 (送信メーターの設定) 0: PO(メーター表示パターン: Analog (White), Analog (Black)のときのみ) 1: ALC(メーター表示パターン: Analog (White), Analog (Black)のときのみ) 2: SWR 3: COMP 4: ID 5: VD 6: TEMP(メーター表示パターン: Digital のときのみ) P2 (メーター表示パターン) 0: Digital 1: Analog (White) 2: Analog (Black) 3: ミニデジタル ※ Digital、Analog (White)、Analog (Black)に設定されているときでも、画面表示内容によりミニデジタルに切り替わるときがあります。 このときの応答は3の「ミニデジタル」になります。									
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	M	T	P1	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	M	T	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	M	T	P1	P2	;					

MU	ミュート										パラメーター: P1 0: ミュートOFF 1: ミュートON <ul style="list-style-type: none"> • このコマンドによるミュート状態はバックアップしません。 • このコマンドによるミュート対象は、受信音声のみです。 									
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	M	U	P1	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	M	U	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	M	U	P1	;						

PCコマンド集

MV	メモリーチャンネル/VFO										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: VFOモード 1: メモリーチャンネルモード
	M	V	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	V	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	M	V	P1	;							

NB1	ノイズブランカー 1										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: NB1 OFF 1: NB1 ON
	N	B	1	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	N	B	1	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	N	B	1	P1	;						

NB2	ノイズブランカー 2										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: NB2 OFF 1: NB2 ON
	N	B	2	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	N	B	2	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	N	B	2	P1	;						

NBD	ノイズブランカー2 タイプBの深さ										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (深さ) 001 ~ 020 999: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	N	B	D	P1	P1	P1	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	N	B	D	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	N	B	D	P1	P1	P1	;				

NBT	ノイズブランカー2のタイプ										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (タイプ) 0: タイプA 1: タイプB
	N	B	T	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	N	B	T	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	N	B	T	P1	;						

NBW	ノイズブランカー2 タイプBの幅										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (幅) 001 ~ 020 999: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	N	B	W	P1	P1	P1	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	N	B	W	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	N	B	W	P1	P1	P1	;				

PCコマンド集

NL1	ノイズブランカー1レベル										パラメーター: P1 001 ~ 020 999: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	N	L	1	P1	P1	P1	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	N	L	1	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	N	L	1	P1	P1	P1	;				

NL2	ノイズブランカー2レベル										パラメーター: P1 001 ~ 010 999: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	N	L	2	P1	P1	P1	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	N	L	2	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	N	L	2	P1	P1	P1	;				

NR	ノイズリダクション										パラメーター: P1 0: NR OFF 1: NR1 ON 2: NR2 ON (FMモード時以外有効)
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	N	R	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	N	R	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	N	R	P1	;							

NT	ノッチ										パラメーター: P1 0: ノッチ OFF 1: ノッチ ON
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	N	T	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	N	T	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	N	T	P1	;							

NW	ノッチ帯域幅										パラメーター: P1 (帯域幅) 0: Normal 1: Middle 2: Wide
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	N	W	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	N	W	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	N	W	P1	;							

PCコマンド集

OM	運用モード										パラメーター: P1 (読み出し/応答) <u>シンプレックスの場合</u> 0: 左側の周波数表示エリアに表示している運用モード 1: 右側の周波数表示エリアに表示している運用モード <u>スプリットの場合 (TF-SET時を含む)</u> 0: 左側の周波数表示エリアに表示している運用モード 1: 右側の周波数表示エリアに表示している運用モード ※設定コマンドでは、このパラメーターは無視されます。(任意の値を入力します) P2 (運用モード) 0: 未使用 1: LSB 2: USB 3: CW 4: FM 5: AM 6: FSK 7: CW-R 8: 未使用 9: FSK-R A: PSK B: PSK-R C: LSB-D D: USB-D E: FM-D F: AM-D ・ 設定コマンドで設定する対象は、受信中は受信モードです。送信中およびTF-SET中の設定対象は送信モードです。
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	O	M	P1	P2	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	O	M	P1	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	O	M	P1	P2	;						

PA	プリアンプ										パラメーター: P1 0: プリアンプ OFF 1: PRE 1 2: PRE 2
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	P	A	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	P	A	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	P	A	P1	;							

PBO	ボイスメッセージリスト表示										パラメーター: P1 0: リスト表示OFF 1: リスト表示ON
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	P	B	0	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	P	B	0	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	P	B	0	P1	;						

PCコマンド集

PB1		ボイスメッセージの再生、その他										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (メッセージチャンネル)	1: CH 1
	P	B	1	P1	P2	;						2: CH 2
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (動作)	3: CH 3
	P	B	1	;								4: CH 4
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P3 (再生経過時間(単位:秒))	5: CH 5
	P	B	1	P1	P2	P3	P3	P3	;			6: CH 6
												0: 停止
												1: 再生開始
												2: 一時停止開始/一時停止終了
												3: 早送り開始/早送り終了
												4: 巻き戻し開始/巻き戻し終了
												5: 再生送信開始
												6: リピートウェイト中(応答のみ)
												※ 停止時は"000"となります。
												• ボイスメッセージリスト表示(PB0)がOFFのときは無効になります。
												• 早送り中および巻き戻し中は、P2で他の動作を指定することはできません。

PB2		ボイスメッセージチャンネル登録状況										パラメーター:
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (メッセージチャンネル)	1: CH 1
	P	B	2	P1	;							2: CH 2
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (登録状況)	3: CH 3
	P	B	2	P1	P2	P3	P3	P3	;			4: CH 4
												5: CH 5
												6: CH 6
												0: 未登録
												1: 登録済
												P3 (登録時間(秒))
												000 ~ 100
												• ボイスメッセージリスト表示(PB0)がOFFのときは無効になります。
												• 未登録チャンネルのP3は"000"となります。

PB3		ボイスメッセージチャンネルのリピート										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (再生チャンネル)	1: CH 1
	P	B	3	P1	P2	;						2: CH 2
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (リピート設定状態)	3: CH 3
	P	B	3	P1	;							4: CH 4
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	0: リピートOFF	5: CH 5
	P	B	3	P1	P2	;						1: リピートON
												• ボイスメッセージリスト表示(PB0)がOFFのときは無効になります。
												• 未登録チャンネルへの設定はできません。

PCコマンド集

PB4		ボイスメッセージチャンネルネーム									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6~	x				P1 (再生チャンネル) 1: CH 1 2: CH 2 3: CH 3 4: CH 4 5: CH 5 6: CH 6 P2 スペース固定 P3 (ネーム) 最大30文字
	P	B	4	P1	P2	P3	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: マイクロホン 1: ACC 2 2: USB Audio 3: LAN
	P	B	4	P1	;						
応答	1	2	3	4	5	6~	x				P1 0: マイクロホン 1: ACC 2 2: USB Audio 3: LAN
	P	B	4	P1	P2	P3	;				
<ul style="list-style-type: none"> ボイスメッセージリスト表示(PB0)がOFFのときは無効になります。 未登録チャンネルへの設定はできません。 											

PB5		ボイスメッセージ録音音源									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: マイクロホン 1: ACC 2 2: USB Audio 3: LAN
	P	B	5	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: マイクロホン 1: ACC 2 2: USB Audio 3: LAN
	P	B	5	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: マイクロホン 1: ACC 2 2: USB Audio 3: LAN
	P	B	5	P1	;						
<ul style="list-style-type: none"> ボイスメッセージリスト表示(PB0)がOFFのときは無効になります。 											

PB6		ボイスメッセージ録音のトータル残り時間									パラメーター:
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (残り時間) 000~100 [秒]
	P	B	6	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (残り時間) 000~100 [秒]
	P	B	6	P1	P1	P1	;				
<ul style="list-style-type: none"> ボイスメッセージリスト表示(PB0)がOFFのときは無効になります。 											

PC		送信出力									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 TS-890Sの場合 005 ~ 100: SSB/ CW/ FM/ FSK/ PSK 005 ~ 025: AM TS-890Dの場合 (TS-890Sを50W/パワーダウンしたときを含む) 005 ~ 050: SSB/ CW/ FM/ FSK/ PSK 005 ~ 025: AM
	P	C	P1	P1	P1	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 TS-890Sの場合 005 ~ 100: SSB/ CW/ FM/ FSK/ PSK 005 ~ 025: AM TS-890Dの場合 (TS-890Sを50W/パワーダウンしたときを含む) 005 ~ 050: SSB/ CW/ FM/ FSK/ PSK 005 ~ 025: AM
	P	C	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 TS-890Sの場合 005 ~ 100: SSB/ CW/ FM/ FSK/ PSK 005 ~ 025: AM
	P	C	P1	P1	P1	;					
<ul style="list-style-type: none"> 変更ステップは、メニュー[6-04] "Transmit Power Step Size" の設定に応じて1Wまたは5Wステップになります。 送信出力リミッター機能がONの場合は、制限されている値以上で設定しようとすると、制限されている値に設定されます。 ドライブアウト機能がONの場合は、ドライブアウトレベルの設定/読み出しとなります。 											

PL		スピーチプロセッサ入出力レベル									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (入力レベル) 000 (最小) ~ 100 (最大) P2 (出力レベル) 000 (最小) ~ 100 (最大)
	P	L	P1	P1	P1	P2	P2	P2	;		
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (入力レベル) 000 (最小) ~ 100 (最大) P2 (出力レベル) 000 (最小) ~ 100 (最大)
	P	L	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (入力レベル) 000 (最小) ~ 100 (最大) P2 (出力レベル) 000 (最小) ~ 100 (最大)
	P	L	P1	P1	P1	P2	P2	P2	;		

PCコマンド集

PRO	スピーチプロセッサのON/OFF										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: スピーチプロセッサOFF 1: スピーチプロセッサON
	P	R	0	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	P	R	0	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	P	R	0	P1	;						

PR1	スピーチプロセッサ効果タイプ										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: Soft 1: Hard
	P	R	1	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	P	R	1	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	P	R	1	P1	;						

PS	電源のON/OFF										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: OFF 1: ON 2: 電源OFF(終了)処理中(応答のみ) 3: 電源ON(起動)処理中(応答のみ) 4: タイマー録音準備中(応答のみ) 5: タイマー録音動作中(応答のみ) 6: タイマー録音中止確認画面表示中(応答のみ)
	P	S	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	P	S	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	P	S	P1	;							
<ul style="list-style-type: none"> COM接続によるPCコントロールで、このコマンドを使って電源をONする場合には、先にタミーデータ(たとえば「;」)を送ったのち100ms程度待つてから「PS1;」を送る必要があります。 設定コマンドで電源をONすると、無線機はAI機能のON/OFFに関わらず、まず「PS3;」を出力し、続いて起動が完了した時点で応答コマンド「PS1;」を出力します。 タイマー録音準備中は、設定コマンドを受付けることができません。 タイマー録音動作中は、ID、ME、およびPS以外のコマンドは動作しません。 											

PT	サイドトーン/ピッチ周波数										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 000 ~ 160: 300 Hz~1100 Hz (5 Hzステップ)
	P	T	P1	P1	P1	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	P	T	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	P	T	P1	P1	P1	;					

PCコマンド集

QA	クイックメモリーチャンネル情報の読み出し										パラメーター: P1 (クイックメモリーチャンネル番号) 0~9 P2 (左側VFOに表示されている周波数情報(11桁)) 未使用の上位桁には"0"がセットされます。 ※情報がない場合は全てブランクが応答されます。 P3 (左側VFOに表示されているモード情報) OMコマンドのP2を参照してください。 ※情報がない場合はブランクが応答されます。 P4 (右側VFOに表示されている周波数情報(11桁)) 未使用の上位桁には"0"がセットされます。 ※情報がない場合は全てブランクが応答されます。 P5 (右側VFOに表示されているモード情報) OMコマンドのP2を参照してください。 ※情報がない場合はブランクが応答されます。 P6 (SPLIT情報) 0: シンプレックス 1: スプリット ※情報がない場合はブランクが応答されます。 ・ AI機能がONの場合でも、このコマンドは自動応答しません。
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	Q A P1 ;
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
応答	Q	A	P1	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 P2 P2 P2 P2 P3 P4 P4 P4 P4 P4 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 P4 P4 P4 P4 P4 P4 P5 P6 ;
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	P2	P2	P2	P2	P3	P4	P4	P4	P4	P4	
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
応答	P4	P4	P4	P4	P4	P4	P5	P6	;		

QD	クイックメモリーチャンネルの全消去										パラメーター: パラメーター無し ・ AI機能がONで、クイックメモリーチャンネルの全消去が実行されたときに応答コマンドを出力します。 ・ クイックメモリーチャンネルモードがOFFのときは設定できません。
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	Q D ;
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
応答	Q	D	;								

QI	クイックメモリーチャンネルの書き込み										パラメーター: パラメーター無し ・ [Q-M.IN]を押した動作をおこないます。 ・ AI機能がONで、クイックメモリーチャンネルの書き込みが実行されたときに応答コマンドを出力します。
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	Q I ;
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
応答	Q	I	;								

QR	クイックメモリーチャンネル										パラメーター: P1 (状態) 0: クイックメモリーチャンネル OFF 1: クイックメモリーチャンネル ON P2 (チャンネル番号) 0~9 ※設定コマンドでパラメーターP1が0のときは、"0"を指定します。 ※チャンネルを指定せずに、無線機が記憶しているチャンネルでクイックメモリーチャンネルをONする場合はスペースを指定します。 ・ メニューで設定したクイックメモリーチャンネル数以上の値を設定したときは、エラーを応答します。 ・ 空きチャンネルを指定した時もエラーを応答します。
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	Q R P1 P2 ;
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
読み出し	Q	R	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	Q R P1 P2 ;
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
応答	Q	R	P1	P2	;						

QS	スピーカーミュート										パラメーター: P1 (状態) 0: スピーカーミュート OFF 1: スピーカーミュート ON ※スピーカーミュート状態は電源OFFで解除されます。 ※AI機能がONの場合でも、このコマンドは自動応答しません。
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	Q S P1 ;
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
読み出し	Q	S	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	Q S P1 ;
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
応答	Q	S	P1	;							

PCコマンド集

RA		アッテネーター									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: OFF 1: 6 dB 2: 12 dB 3: 18 dB
	R	A	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	R	A	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	R	A	P1	;							

RC		RIT/XIT周波数のクリア									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	パラメーター無し ・ RIT/XIT機能のON/OFFに関わらず有効です。
	R	C	;								

RD / RU		RIT/XIT周波数のUP/DOWN									パラメーター:
設定 1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (周波数 (単位はHz), 設定2コマンドのみ) 00000 ~ 09999 ・ 設定1コマンドでは、1ステップ分だけRIT/XIT周波数が変化します。 ・ RUコマンド使用時は+方向に、RDコマンド使用時は-方向にRIT/XIT周波数が変化します。 ・ 設定2コマンドでは、P1で指定された周波数がRIT/XIT周波数に設定されます (RUコマンド使用時はプラスの値、RDコマンド使用時はマイナスの値になります)
	R	D/U	;								
設定 2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	R	D/U	P1	P1	P1	P1	P1	;			

RE		レコーディング機能									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (動作) 0: 録音停止/再生停止 1: マニュアル録音開始/録音中 2: 常時録音ストア (設定のみ) 3: クイック再生開始/再生中 4: マニュアル録音の一時停止/一時停止からの再開 5: クイック再生の一時停止/一時停止からの再開 6: 録音失敗 (応答のみ) 7: 再生失敗 (応答のみ) ※無線機操作で発生した録音失敗または再生失敗の状態は、AI機能による自動応答はしません。 P2 (再生進捗) 001 ~ 100 ※再生していないときは000固定です。 ※AI機能による自動応答は1秒ごとにおこないます (連続ではなく飛び飛びの値の通知になります)
	R	E	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	R	E	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	R	E	P1	P2	P2	P2	;				

RF		RIT/XIT周波数									パラメーター:
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (RIT/XIT周波数の変更方向) 0: プラス方向 1: マイナス方向
	R	F	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (RIT/XIT周波数 (Hz)) 0000 ~ 9999:
	R	F	P1	P2	P2	P2	P2	;			

RG		RFゲイン									パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 000 ~ 255
	R	G	P1	P1	P1	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	R	G	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	R	G	P1	P1	P1	;					

PCコマンド集

RL1	NR1レベル										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 01 ~ 10 99: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	R	L	1	P1	P1	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	R	L	1	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	R	L	1	P1	P1	;					

RL2	NR2時定数										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 00 (2 ms) ~ 09 (20 ms) 99: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	R	L	2	P1	P1	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	R	L	2	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	R	L	2	P1	P1	;					

RM	メーター										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (メーター種別) 1: ALC 2: SWR 3: COMP 4: ID 5: VD 6: TEMP P2 (読み出し設定) 0: 読み出し無し 1: 読み出し有り ※電源ON時に全てのメーター種別は「読み出し無し」にリセットされます。 P3 (メーターの振れ) 0000 ~ 0070 ※値は無線機のデジタルメーターでの振れ(ドット数)を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 設定コマンドで読み出し有りに設定したメーター種別(同時に複数設定可能)のメーター値が応答コマンドで出力されます。 • 無線機に表示されるメーターの表示対象はMTコマンドで設定します。 • ボイスメッセージ録音待機及び、録音中はACLメーターの値を応答します(読み出し無しに設定されている場合も応答します)。
	R	M	P1	P2	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	R	M	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	R	M	P1	P3	P3	P3	P3	;			

RT	RIT機能の状態、RITシフト										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: RIT OFF 1: RIT ON 2: RITシフトの実行 (設定コマンドのみ)
	R	T	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	R	T	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	R	T	P1	;							

RX	受信状態への切り替え										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	パラメーター無し <ul style="list-style-type: none"> • 応答コマンドは、AI機能がONの場合のみ出力されます。
	R	X	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	R	X	;								

PCコマンド集

SCO		スキャン										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (スキャン動作/状態) 0: スキャンOFF 1: スキャンON	
	S	C	0	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (スロースキャン状況) 0: スロースキャン区間外 1: スロースキャン区間内(スロースキャン動作中) ※プログラムスキャン以外では常に"0"となります。	
	S	C	0	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	S	C	0	P1	P2	;						

SC1		スキャンスピード										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 1~9	
	S	C	1	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	S	C	1	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	S	C	1	P1	;							

SC2		TONEスキャン/CTCSSスキャン										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: TONE/CTCSSスキャンOFF 1: TONEスキャン 2: CTCSSスキャン	
	S	C	2	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	<ul style="list-style-type: none"> FMモードのときに設定できません。 このコマンドを使ってTONEスキャンを実行するとTONE機能が自動的にONになります。 このコマンドを使ってCTCSSスキャンを実行するとCTCSS機能が自動的にONになります。 	
	S	C	2	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	S	C	2	P1	;							

SC3		プログラムスキャン/VFOスキャンの選択										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: プログラムスキャン 1: VFOスキャン	
	S	C	3	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	S	C	3	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	S	C	3	P1	;							

SD		ブレークインディレイタイム										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0000~1000 (ms, 50ステップ)	
	S	D	P1	P1	P1	P1	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	<ul style="list-style-type: none"> 50ステップ単位以外の入力、50ステップ単位の値に補正されま す。 	
	S	D	;									
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	S	D	P1	P1	P1	P1	;					

PCコマンド集

SF	VFO (周波数とモード) の設定、読み出し										パラメーター:	
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (対象VFO) 0: VFO A 1: VFO B	
	S	F	P1	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2		
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
読み出し	P2	P2	P2	P2	P3	;					P2 (周波数 (11桁)) 単位はHz。 ※ 使用しない桁には'0'を入れます。	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
応答	S	F	P1	;							P3 (運用モード) OMコマンドのP2を参照してください。	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	S	F	P1	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2		<ul style="list-style-type: none"> このコマンドが扱う周波数は、RIT/XIT周波数を加算する前の周波数です。 送信中のVFOに対する設定はできません。送信中であっても、送信していない側のVFOに対する設定は可能です。 TF-SET中は設定コマンドを受け付けません。 AI機能がONの場合でも、このコマンドは自動応答しません。
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
	P2	P2	P2	P2	P3	;						

SH	受信フィルターのハイカット周波数/シフト周波数										ハイカット周波数 (Hz)			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2	SSB/SSB-DATA	AM/AM-DATA	FM/FM-DATA
設定	S	H	P1	P2	P2	P2	;				000	600	2.0 k	1000
読み出し	S	H	P1	;							001	700	2.1 k	1100
応答	S	H	P1	P2	P2	P2	;				002	800	2.2 k	1200
											003	900	2.3 k	1300
											004	1000	2.4 k	1400
											005	1100	2.5 k	1500
											006	1200	2.6 k	1600
											007	1300	2.7 k	1700
											008	1400	2.8 k	1800
											009	1500	2.9 k	1900
											010	1600	3.0 k	2000
											011	1700	3.5 k	2100
											012	1800	4.0 k	2200
											013	1900	5.0 k	2300
											014	2000		2400
											015	2100		2500
											016	2200		2600
											017	2300		2700
											018	2400		2800
											019	2500		2900
											020	2600		3000
											021	2700		3400
											022	2800		4000
											023	2900		5000
											024	3000		
											025	3400		
											026	4000		
											027	5000		

パラメーター:
P1 (種別)
0: 設定値
1: プリセット値
P2: ハイカット周波数ID

P2: SSB/SSB-DATAモード時のシフト周波数ID

P2	シフト周波数 (Hz)	
	SSB/SSB-DATA	
000	50	
001	100	
002 ~ 048	150 ~ 2450 (50 Hzステップ)	
049	2500	

P2: CWモード時のシフト周波数ID

P2	シフト周波数 (Hz)	
	CW	
000	-800	
001	-790	
002 ~ 079	-780 ~ -10 (10 Hzステップ)	
080	0	
081	10	
082 ~ 159	20 ~ 790 (10 Hzステップ)	
160	800	

※設定コマンドで対応する周波数がないIDを指定した場合はエラーとなります。
※999を指定した場合は初期値に設定されます。
※シフト周波数の設定と読み出しはISコマンドでも可能です。

PCコマンド集

SL	受信フィルターのローカット周波数／通過帯域幅										パラメーター:																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (種別) 0: 設定値 1: プリセット値																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (ローカット周波数ID／通過帯域幅D)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">P2</th> <th colspan="3">ローカット周波数 (Hz)</th> <th colspan="4">通過帯域幅 (Hz)</th> </tr> <tr> <th>SSB/SSB-DATA</th> <th>AM/AM-DATA</th> <th>FM/FM-DATA</th> <th>SSB/SSB-DATA</th> <th>CW</th> <th>FSK</th> <th>PSK</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>00</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>50</td><td>50</td><td>250</td><td>50</td></tr> <tr><td>01</td><td>50</td><td>100</td><td>50</td><td>80</td><td>80</td><td>300</td><td>80</td></tr> <tr><td>02</td><td>100</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>350</td><td>100</td></tr> <tr><td>03</td><td>200</td><td>300</td><td>200</td><td>150</td><td>150</td><td>400</td><td>150</td></tr> <tr><td>04</td><td>300</td><td></td><td>300</td><td>200</td><td>200</td><td>450</td><td>200</td></tr> <tr><td>05</td><td>400</td><td></td><td>400</td><td>250</td><td>250</td><td>500</td><td>250</td></tr> <tr><td>06</td><td>500</td><td></td><td>500</td><td>300</td><td>300</td><td>1000</td><td>300</td></tr> <tr><td>07</td><td>600</td><td></td><td>600</td><td>350</td><td>350</td><td>1500</td><td>350</td></tr> <tr><td>08</td><td>700</td><td></td><td>700</td><td>400</td><td>400</td><td></td><td>400</td></tr> <tr><td>09</td><td>800</td><td></td><td>800</td><td>450</td><td>450</td><td></td><td>450</td></tr> <tr><td>10</td><td>900</td><td></td><td>900</td><td>500</td><td>500</td><td></td><td>500</td></tr> <tr><td>11</td><td>1000</td><td></td><td>1000</td><td>600</td><td>600</td><td></td><td>600</td></tr> <tr><td>12</td><td>1100</td><td></td><td></td><td>700</td><td>700</td><td></td><td>700</td></tr> <tr><td>13</td><td>1200</td><td></td><td></td><td>800</td><td>800</td><td></td><td>800</td></tr> <tr><td>14</td><td>1300</td><td></td><td></td><td>900</td><td>900</td><td></td><td>900</td></tr> <tr><td>15</td><td>1400</td><td></td><td></td><td>1000</td><td>1000</td><td></td><td>1000</td></tr> <tr><td>16</td><td>1500</td><td></td><td></td><td>1100</td><td>1500</td><td></td><td>1200</td></tr> <tr><td>17</td><td>1600</td><td></td><td></td><td>1200</td><td>2000</td><td></td><td>1400</td></tr> <tr><td>18</td><td>1700</td><td></td><td></td><td>1300</td><td>2500</td><td></td><td>1500</td></tr> <tr><td>19</td><td>1800</td><td></td><td></td><td>1400</td><td></td><td></td><td>1600</td></tr> <tr><td>20</td><td>1900</td><td></td><td></td><td>1500</td><td></td><td></td><td>1800</td></tr> <tr><td>21</td><td>2000</td><td></td><td></td><td>1600</td><td></td><td></td><td>2000</td></tr> <tr><td>22</td><td></td><td></td><td></td><td>1700</td><td></td><td></td><td>2200</td></tr> <tr><td>23</td><td></td><td></td><td></td><td>1800</td><td></td><td></td><td>2400</td></tr> <tr><td>24</td><td></td><td></td><td></td><td>1900</td><td></td><td></td><td>2600</td></tr> <tr><td>25</td><td></td><td></td><td></td><td>2000</td><td></td><td></td><td>2800</td></tr> <tr><td>26</td><td></td><td></td><td></td><td>2100</td><td></td><td></td><td>3000</td></tr> <tr><td>27</td><td></td><td></td><td></td><td>2200</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>28</td><td></td><td></td><td></td><td>2300</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>29</td><td></td><td></td><td></td><td>2400</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>30</td><td></td><td></td><td></td><td>2500</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td>2600</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>32</td><td></td><td></td><td></td><td>2700</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>33</td><td></td><td></td><td></td><td>2800</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>34</td><td></td><td></td><td></td><td>2900</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>35</td><td></td><td></td><td></td><td>3000</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>								P2	ローカット周波数 (Hz)			通過帯域幅 (Hz)				SSB/SSB-DATA	AM/AM-DATA	FM/FM-DATA	SSB/SSB-DATA	CW	FSK	PSK	00	0	0	0	50	50	250	50	01	50	100	50	80	80	300	80	02	100	200	100	100	100	350	100	03	200	300	200	150	150	400	150	04	300		300	200	200	450	200	05	400		400	250	250	500	250	06	500		500	300	300	1000	300	07	600		600	350	350	1500	350	08	700		700	400	400		400	09	800		800	450	450		450	10	900		900	500	500		500	11	1000		1000	600	600		600	12	1100			700	700		700	13	1200			800	800		800	14	1300			900	900		900	15	1400			1000	1000		1000	16	1500			1100	1500		1200	17	1600			1200	2000		1400	18	1700			1300	2500		1500	19	1800			1400			1600	20	1900			1500			1800	21	2000			1600			2000	22				1700			2200	23				1800			2400	24				1900			2600	25				2000			2800	26				2100			3000	27				2200				28				2300				29				2400				30				2500				31				2600				32				2700				33				2800				34				2900				35				3000			
P2	ローカット周波数 (Hz)			通過帯域幅 (Hz)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	SSB/SSB-DATA	AM/AM-DATA	FM/FM-DATA	SSB/SSB-DATA	CW	FSK	PSK																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
00	0	0	0	50	50	250	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
01	50	100	50	80	80	300	80																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
02	100	200	100	100	100	350	100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
03	200	300	200	150	150	400	150																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
04	300		300	200	200	450	200																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
05	400		400	250	250	500	250																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
06	500		500	300	300	1000	300																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
07	600		600	350	350	1500	350																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
08	700		700	400	400		400																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
09	800		800	450	450		450																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
10	900		900	500	500		500																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
11	1000		1000	600	600		600																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
12	1100			700	700		700																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
13	1200			800	800		800																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
14	1300			900	900		900																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
15	1400			1000	1000		1000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
16	1500			1100	1500		1200																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
17	1600			1200	2000		1400																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
18	1700			1300	2500		1500																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
19	1800			1400			1600																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
20	1900			1500			1800																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
21	2000			1600			2000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
22				1700			2200																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
23				1800			2400																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
24				1900			2600																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
25				2000			2800																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
26				2100			3000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
27				2200																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
28				2300																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
29				2400																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
30				2500																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
31				2600																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
32				2700																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
33				2800																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
34				2900																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
35				3000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
											※設定コマンドで対応する周波数がないIDを指定した場合はエラーとなります。 ※99を指定した場合は初期値に設定されます。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

SM	Sメーター、パワーメーター										パラメーター:							
	読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (メーターの振れ) 0000 ~ 0070 ※値は無線機のデジタルメーターでの振れ(ドット数)を示します。 ※無線機のメーター選択内容とは無関係に、受信時はSメーター、送信時はパワーメーターの振れを示します。						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10								
	S	M	P1	P1	P1	P1	;											

PCコマンド集

SP	スプリット運用周波数設定										パラメーター:
設定 1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (スプリット運用周波数設定) 0: 設定完了/操作無し 1: 設定開始/設定操作中 2: キャンセル(設定コマンドのみ) ※設定2の場合は“0”を指定する ※設定中は無線機のSPLIT表示が点滅します
	S	P	P1	;							
設定 2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (シフト方向) 0: プラス方向 1: マイナス方向 P3 (シフト量(単位: kHz)) 1~9
	S	P	P1	P2	P3	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (スプリット運用周波数設定) 0: 設定完了/操作無し 1: 設定開始/設定操作中 2: キャンセル(設定コマンドのみ) ※設定2の場合は“0”を指定する ※設定中は無線機のSPLIT表示が点滅します
	S	P	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (シフト方向) 0: プラス方向 1: マイナス方向 P3 (シフト量(単位: kHz)) 1~9
	S	P	P1	;							
											• 設定2を実行すると、自動的にスプリット運用周波数設定が確定します。

SQ	スケルチレベル										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 000 ~ 255
	S	Q	P1	P1	P1	;					
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 000 ~ 255
	S	Q	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 000 ~ 255
	S	Q	P1	P1	P1	;					

SR	リセット										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 1: メニューリセット 2: メモリーチャンネルリセット 3: VFOリセット 4: スタンダードリセット 5: フルリセット
	S	R	P1	;							

SS	プログラムスロースキャンポイント周波数										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (区間指定メモリーチャンネル番号) 0~9 P2 (スロースキャンポイント番号) 0~4 P3 (スロースキャンポイント周波数(11桁))
	S	S	P1	P2	P3	P3	P3	P3	P3	P3	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P3 (スロースキャンポイント周波数(11桁))
	S	S	P1	P2	;						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	• 応答コマンドでは、ポイント周波数が設定されていないときは、P3は11桁全て“0”になります。 • 応答コマンドでは、P3を全桁“0”に設定すると、パラメーターP2で指定されているスロースキャンポイントナンバーのポイント削除となります。 • 設定コマンドでは、削除時を除き、区間指定チャンネルの下限/上限周波数を超過して設定することはできません。 • パラメーターP1で指定した区間指定メモリーチャンネルが空きチャンネルの場合、設定することはできません。
	S	S	P1	P2	P3	P3	P3	P3	P3	P3	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	P3	P3	P3	P3	P3	;					

PCコマンド集

SU	プログラムスキャン区間選択、メモリスキャングループ選択										パラメーター:																																									
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (選択情報種別) 0: プログラムスキャン区間選択 1: メモリスキャングループ選択 P2～P13 (選択設定/状況) 0: 非選択 1: 選択																																									
	S	U	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8																																										
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20																																										
	P9	P10	P11	P12	P13	;																																														
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">パラメーター</th> <th style="width: 60%;">プログラムスキャン区間選択時</th> <th style="width: 25%;">メモリスキャングループ選択時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>P2</td><td>区間指定メモリーチャンネル 0</td><td>Group 0</td></tr> <tr><td>P3</td><td>区間指定メモリーチャンネル 1</td><td>Group 1</td></tr> <tr><td>P4</td><td>区間指定メモリーチャンネル 2</td><td>Group 2</td></tr> <tr><td>P5</td><td>区間指定メモリーチャンネル 3</td><td>Group 3</td></tr> <tr><td>P6</td><td>区間指定メモリーチャンネル 4</td><td>Group 4</td></tr> <tr><td>P7</td><td>区間指定メモリーチャンネル 5</td><td>Group 5</td></tr> <tr><td>P8</td><td>区間指定メモリーチャンネル 6</td><td>Group 6</td></tr> <tr><td>P9</td><td>区間指定メモリーチャンネル 7</td><td>Group 7</td></tr> <tr><td>P10</td><td>区間指定メモリーチャンネル 8</td><td>Group 8</td></tr> <tr><td>P11</td><td>区間指定メモリーチャンネル 9</td><td>Group 9</td></tr> <tr><td>P12</td><td>N/A (応答は常に"0"、設定時は"0"または"1")</td><td>Group P</td></tr> <tr><td>P13</td><td>N/A (応答は常に"0"、設定時は"0"または"1")</td><td>Group E</td></tr> </tbody> </table>			パラメーター	プログラムスキャン区間選択時	メモリスキャングループ選択時	P2	区間指定メモリーチャンネル 0	Group 0	P3	区間指定メモリーチャンネル 1	Group 1	P4	区間指定メモリーチャンネル 2	Group 2	P5	区間指定メモリーチャンネル 3	Group 3	P6	区間指定メモリーチャンネル 4	Group 4	P7	区間指定メモリーチャンネル 5	Group 5	P8	区間指定メモリーチャンネル 6	Group 6	P9	区間指定メモリーチャンネル 7	Group 7	P10	区間指定メモリーチャンネル 8	Group 8	P11	区間指定メモリーチャンネル 9	Group 9	P12	N/A (応答は常に"0"、設定時は"0"または"1")	Group P	P13	N/A (応答は常に"0"、設定時は"0"または"1")	Group E
	パラメーター	プログラムスキャン区間選択時	メモリスキャングループ選択時																																																	
P2	区間指定メモリーチャンネル 0	Group 0																																																		
P3	区間指定メモリーチャンネル 1	Group 1																																																		
P4	区間指定メモリーチャンネル 2	Group 2																																																		
P5	区間指定メモリーチャンネル 3	Group 3																																																		
P6	区間指定メモリーチャンネル 4	Group 4																																																		
P7	区間指定メモリーチャンネル 5	Group 5																																																		
P8	区間指定メモリーチャンネル 6	Group 6																																																		
P9	区間指定メモリーチャンネル 7	Group 7																																																		
P10	区間指定メモリーチャンネル 8	Group 8																																																		
P11	区間指定メモリーチャンネル 9	Group 9																																																		
P12	N/A (応答は常に"0"、設定時は"0"または"1")	Group P																																																		
P13	N/A (応答は常に"0"、設定時は"0"または"1")	Group E																																																		
S	U	P1	;																																																	
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																										
	S	U	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8																																										
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20																																										
	P9	P10	P11	P12	P13	;																																														

SV	メモリーシフト動作										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	パラメーター無し ・無線機の[M>V]を押した動作をおこないません。
	S	V	;								

TB	スプリット										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: スプリットOFF 1: スプリットON
	T	B	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	T	B	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	T	B	P1	;							

TF1	送信フィルターのローカット周波数										パラメーター:
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 10 Hz 1: 100 Hz 2: 200 Hz 3: 300 Hz 4: 400 Hz 5: 500 Hz ※ 設定はEXコマンドでおこないます。 ・送信モードが送信フィルターの設定がないモード (FM, CW, PSK, FSK) の場合は、読み出しができません (エラーになります)。 ・AI機能がONのときは、送信モードが送信フィルターの設定がないモード (FM, CW, PSK, FSK) から、送信フィルターの設定があるモード (SSB/AM) に切り替わった際に自動応答します。
	T	F	1	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	T	F	1	P1	;						

PCコマンド集

TF2	送信フィルターのハイカット周波数										パラメーター: P1 0: 2500 Hz 1: 2600 Hz 2: 2700 Hz 3: 2800 Hz 4: 2900 Hz 5: 3000 Hz ※ 設定はEXコマンドでおこないます。 • 送信モードが送信フィルターの設定があるモード(SSB/AM)の場合に、読み出しができます。(送信モードが送信フィルターの設定がないモード(FM, CW, PSK, FSK)の場合は、読み出しができません(エラーになります)。) • AI機能がONのときは、送信モードが送信フィルターの設定がないモード(FM/CW/PSK/FSK)から、送信フィルターの設定があるモード(SSB/AM)に切り替わった際に自動応答します。
	読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	T	F	2	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	T	F	2	P1	;						

TI	一時的に送信禁止										パラメーター: P1 0: 送信許可 1: 一時的に送信禁止 ※バックアップはしません。 ※AI機能がONの場合でも、このコマンドは自動応答しません。
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	T	I	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	T	I	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	T	I	P1	;							

TMO	タイマー										パラメーター: P1 0: タイマー機能OFFまたは一時解除 1: タイマー機能ON(一時解除からの再開)
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	T	M	0	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	T	M	0	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	T	M	0	P1	;						

PCコマンド集

TM1	プログラムタイマー										パラメーター:
設定1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (タイマーモード) 0: OFF 1: Power-on (オンタイマー) 2: Power-off (オフタイマー) 3: Power-on/off (オンオフタイマー) 4: Record (タイマー録音)
	T	M	1	P1	;						
設定2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (日曜日) P3 (月曜日) P4 (火曜日) P5 (水曜日) P6 (木曜日) P7 (金曜日) P8 (土曜日) 0: 非選択 1: 選択 P9 (リピート) 0: OFF 1: ON P10 (電源オン時刻) 0000 ~ 2359 ※ P1がPower-off (オフタイマー)の場合、設定は無視され、応答は ブランクになります。 P11 (電源オフ時刻) 0000 ~ 2359 ※ P1がPower-on (オンタイマー)の場合、設定は無視され、応答 はブランクになります。 P12 (受信周波数の予約内容(11桁)) 単位Hz。未使用の上位桁には“0”を設定します。 P13 (受信周波数のモードの予約内容) OMコマンドのP2を参照してください。
	T	M	1	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	P8	P9	P10	P10	P10	P10	P11	P11	P11	P11	
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	P12	P12	P12	P12	P12	P12	P12	P12	P12	P12	
	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
P12	P13	;									
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	T	M	1	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	T	M	1	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	P8	P9	P10	P10	P10	P10	P11	P11	P11	P11	
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	P12	P12	P12	P12	P12	P12	P12	P12	P12	P12	
	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
P12	P13	;									

TM2	スリープタイマー										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (スリープタイマー設定) 0: OFF 1: 5分 2: 10分 3: 15分 4: 30分 5: 60分 6: 90分 7: 120分
	T	M	2	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (スリープまでの時間(単位:分)) 000 ~ 120 ※ OFF時は“000”を応答します。 • OFF以外に設定するとスリープタイマー動作を開始します。
	T	M	2	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	T	M	2	P1	P2	P2	P2	;			

PCコマンド集

TN	FMトーン周波数										パラメーター: P1 (TONE周波数)							
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1	周波数 (Hz)	P1	周波数 (Hz)	P1	周波数 (Hz)	P1	周波数 (Hz)
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1	周波数 (Hz)	P1	周波数 (Hz)	P1	周波数 (Hz)	P1	周波数 (Hz)
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1	周波数 (Hz)	P1	周波数 (Hz)	P1	周波数 (Hz)	P1	周波数 (Hz)
	T	N	P1	P1	;						00	67.0	13	103.5	26	159.8	39	199.5
	T	N	;								01	69.3	14	107.2	27	162.2	40	203.5
	T	N	P1	P1	;						02	71.9	15	110.9	28	165.5	41	206.5
	T	N	;								03	74.4	16	114.8	29	167.9	42	210.7
	T	N	P1	P1	;						04	77.0	17	118.8	30	171.3	43	218.1
	T	N	;								05	79.7	18	123.0	31	173.8	44	225.7
	T	N	P1	P1	;						06	82.5	19	127.3	32	177.3	45	229.1
	T	N	;								07	85.4	20	131.8	33	179.9	46	233.6
	T	N	P1	P1	;						08	88.5	21	136.5	34	183.5	47	241.8
	T	N	;								09	91.5	22	141.3	35	186.2	48	250.3
	T	N	P1	P1	;						10	94.8	23	146.2	36	189.9	49	254.1
	T	N	;								11	97.4	24	151.4	37	192.8	50	1750.0
	T	N	P1	P1	;						12	100.0	25	156.7	38	196.6	99	初期値へ
	T	N	;								※存在しない値の設定は無効になります。 ※99は設定コマンドのみです。							

TO	トーン/CTCSS/クロストーン										パラメーター: P1 (トーン機能種別)				
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1	0: OFF	1: Tone	2: CTCSS	3: Cross Tone
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1	0: OFF	1: Tone	2: CTCSS	3: Cross Tone
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1	0: OFF	1: Tone	2: CTCSS	3: Cross Tone
	T	O	P1	;											
	T	O	;												
	T	O	P1	;											
	T	O	;												

TS	TF-SET										パラメーター: P1		
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1	0: TF-SET OFF	1: TF-SET ON
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1	0: TF-SET OFF	1: TF-SET ON
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1	0: TF-SET OFF	1: TF-SET ON
	T	S	P1	;									
	T	S	;										
	T	S	P1	;									

TX	送信状態への切り替え										パラメーター: P1			
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1	0: SEND/PTTによる送信	1: DATA SEND/PKSIによる送信	2: TX TUNE
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1	0: SEND/PTTによる送信	1: DATA SEND/PKSIによる送信	2: TX TUNE
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1	0: SEND/PTTによる送信	1: DATA SEND/PKSIによる送信	2: TX TUNE
	T	X	P1	;										
	T	X	;											
	T	X	P1	;										
	T	X	;								・TXコマンドでパラメーターP1を省略した場合は、SEND/PTTによる送信になります。 ・応答コマンドは、AI機能がONの場合のみ出力されます。			

PCコマンド集

UD	VFO周波数のUP/DOWN										パラメーター:
設定1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (対象VFO) 0: VFO A 1: VFO B
	U	D	P1	P2	P3	P3	;				
設定2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (周波数変更方向) 0: UP方向 1: DOWN方向
	U	D	P1	P2	;						
											P3 (変更ステップ数 (設定1コマンドのみ)) 00~99 ・ 1ステップあたりの周波数変更量は、同調ツマミによる変更ステップと同じです。 ・ シンプレックスモードのとき、使用していない側のVFOに対しても有効です。 ・ パラメーターP3の変更ステップ数の指定を省略した設定2コマンドのフォーマットでコマンドを送った場合は、1ステップの変更となります。 ・ メモリーチャンネルモードでは設定できません。 ・ TF-SET中は設定できません。

UR/UT	RX/TXイコライザー調整										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1: 0 Hz レベル P2: 300 Hz レベル P3: 600 Hz レベル P4: 900 Hz レベル P5: 1200 Hz レベル P6: 1500 Hz レベル P7: 1800 Hz レベル P8: 2100 Hz レベル P9: 2400 Hz レベル P10: 2700 Hz レベル P11: 3000 Hz レベル P12: 3300 Hz レベル P13: 3600 Hz レベル P14: 3900 Hz レベル P15: 4200 Hz レベル P16: 4500 Hz レベル P17: 4800 Hz レベル P18: 5100 Hz レベル 00 ~ 30: 00が+6dB、06が0dB、30が-24dBに相当します。 ※範囲外の値はエラーになります。 ※P1からP18まで全て99のときは初期値が設定されます。
	U	R/T	P1	P1	P2	P2	P3	P3	P4	P4	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	P5	P5	P6	P6	P7	P7	P8	P8	P9	P9	
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	P10	P10	P11	P11	P12	P12	P13	P13	P14	P14	
	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
P15	P15	P16	P16	P17	P17	P18	P18	;			
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P11: 3000 Hz レベル P12: 3300 Hz レベル P13: 3600 Hz レベル P14: 3900 Hz レベル P15: 4200 Hz レベル P16: 4500 Hz レベル P17: 4800 Hz レベル P18: 5100 Hz レベル 00 ~ 30: 00が+6dB、06が0dB、30が-24dBに相当します。 ※範囲外の値はエラーになります。 ※P1からP18まで全て99のときは初期値が設定されます。
	U	R/T	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	00 ~ 30: 00が+6dB、06が0dB、30が-24dBに相当します。 ※範囲外の値はエラーになります。 ※P1からP18まで全て99のときは初期値が設定されます。 ・ 全てのエフェクトで、この設定コマンドを使ってイコライジングした内容がバックアップされます。
	U	R/T	P1	P1	P2	P2	P3	P3	P4	P4	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	P5	P5	P6	P6	P7	P7	P8	P8	P9	P9	
	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	P10	P10	P11	P11	P12	P12	P13	P13	P14	P14	
	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
P15	P15	P16	P16	P17	P17	P18	P18	;			

VD	VOXディレイタイム										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (入力種別) 0: マイクホン 1: ACC 2 2: USB-Audio 3: LAN
	V	D	P1	P2	P2	P2	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (VOXディレイタイム (数値×150ms)) 000 ~ 020: 999: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	V	D	P1	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 (VOXディレイタイム (数値×150ms)) 000 ~ 020: 999: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	V	D	P1	P2	P2	P2	;				

PCコマンド集

VGO	VOXゲイン										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (入力種別) 0: マイクロホン 1: ACC 2 2: USB-Audio 3: LAN P2 (VOXゲイン) 000 ~ 020 999: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	V	G	0	P1	P2	P2	P2	;			
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (入力種別) 0: マイクロホン 1: ACC 2 2: USB-Audio 3: LAN P2 (VOXゲイン) 000 ~ 020 999: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	V	G	0	P1	;						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (入力種別) 0: マイクロホン 1: ACC 2 2: USB-Audio 3: LAN P2 (VOXゲイン) 000 ~ 020 999: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	V	G	0	P1	P2	P2	P2	;			

VG1	Anti-VOX レベル										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (入力種別) 0: マイクロホン 1: ACC 2 2: USB-Audio 3: LAN P2 (レベル) 000 ~ 020 999: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	V	G	1	P1	P2	P2	P2	;			
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (入力種別) 0: マイクロホン 1: ACC 2 2: USB-Audio 3: LAN P2 (レベル) 000 ~ 020 999: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	V	G	1	P1	;						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (入力種別) 0: マイクロホン 1: ACC 2 2: USB-Audio 3: LAN P2 (レベル) 000 ~ 020 999: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	V	G	1	P1	P2	P2	P2	;			

VRO	ボイスガイド										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 1: ボイス1 2: ボイス2 3: ボイス3
	V	R	0	P1	;						

VR1	オートアナウンスの一時停止										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 一時停止解除 1: 一時停止 ※AI機能がONの場合でも、このコマンドは自動応答しません。
	V	R	1	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 一時停止解除 1: 一時停止 ※AI機能がONの場合でも、このコマンドは自動応答しません。
	V	R	1	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 一時停止解除 1: 一時停止 ※AI機能がONの場合でも、このコマンドは自動応答しません。
	V	R	1	P1	;						

VV	VFO AからVFO Bへのコピー ([A=B]動作)										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	パラメーター無し
	V	V	;								

VX	VOX機能										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: VOX OFF 1: VOX ON
	V	X	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: VOX OFF 1: VOX ON • SSB/FM/AMモード以外では設定できません。 • SSB/FM/AMモード以外で読出すと"0"が応答されます。
	V	X	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: VOX OFF 1: VOX ON • SSB/FM/AMモード以外では設定できません。 • SSB/FM/AMモード以外で読出すと"0"が応答されます。
	V	X	P1	;							

PCコマンド集

XO	トランスバーターの発振周波数										パラメーター:
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
X		O	P1	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	
11		12	13	14	15	16	17	18	19	20	
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	X	O	;								
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	X	O	P1	P2	P2	P2	P2	P2	P2	P2	
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	P2	P2	P2	P2	;						

XT	XIT機能の状態、XITシフト										パラメーター:
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
X		T	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	X	T	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	X	T	P1	;							

XV	トランスバーター機能										パラメーター:
	設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
X		V	P1	;							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	X	V	;								
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	X	V	P1	;							

00	再起動通知										パラメーター:
	読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
0		0	;								

LAN専用コマンド一覧

##CN	LAN接続要求										パラメーター:
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 接続拒否 1: 接続許可
	#	#	C	N	;						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	• 既にLAN経由で接続しているセッションがあるときは拒否します。
	#	#	C	N	P1	;					

##DD2	バンドスコープ表示情報 (LAN出力専用)								パラメーター:
応答	1	2	3	4	5	6~1285	1286		P1 (バンドスコープ表示情報 (1280桁)) 640本のスペクトル情報を1本あたりASCIIコード2桁で表します。 最初の2桁が左端のスペクトル情報で、最後の2桁が右端のスペクトル情報となります。 EXPAND (スペクトル解析範囲拡大) がONのときは、無線機に表示している範囲よりも拡大した範囲の表示情報を出力します。 例: • 表示スパンが100kHzの場合は、300kHzに拡大された範囲のスペクトル表示情報を出力します。 • 表示スパンが200kHzの場合は、400kHzに拡大された範囲のスペクトル表示情報を出力します 各スペクトル情報の値の範囲は16進数で00h~8Ch。 00hはスペクトルが最も上に伸びた状態 (信号強度は0dB) を示し、8Chはスペクトルが表示されない状態 (信号強度は-100dB) を示します。 各スペクトル情報の16進数のASCIIコードへの変換は上位バイトの桁からおこないます。8Chのときは"8", "C"の順番になります。 • AI機能がONのとき且つDD0コマンドで「LANへの出力 (高周波)」、「LANへの出力 (中周波)」、「LANへの出力 (低周波)」を選択しているときのみ、一定周期でLAN端子から出力されます。
	#	#	D	D	2	P1	;		

##DD3	フィルタースコープ表示情報 (LAN出力専用)								パラメーター:
応答	1	2	3	4	5	6~431	432		P1 (スペクトル表示情報 (426桁)) 213本のスペクトル情報を1本あたりASCIIコード2桁で表します。 最初の2桁が左端のスペクトル情報で、最後の2桁が右端のスペクトル情報となります。 各スペクトル情報の値の範囲は16進数で00h~32h。 00hはスペクトルが最も上に伸びた状態 (信号強度は0dB) を示し、32hはスペクトルが表示されない状態 (信号強度は-50dB) を示します。 各スペクトル情報の16進数のASCIIコードへの変換は上位バイトの桁からおこないます。32hのときは"3", "2"の順番になります。 • AI機能がONのとき且つDD1コマンドで「LANへの出力」を選択しているときのみ、一定周期でLAN端子から出力されます。 • 無線機がオーディオスコープを表示している場合は出力されません。
	#	#	D	D	3	P1	;		

PCコマンド集

##ID	LAN接続ログイン										パラメーター:
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10~	P1 (アカウントの種類) 0: 管理者ID 1: ユーザーID P2 (アカウント長) 01 ~ 32 P3 (パスワード長) 01 ~ 32 P4 (管理者IDのアカウントあるいはユーザーIDのアカウント) アカウント P5 (管理者IDのパスワードあるいはユーザーIDのパスワード) パスワード (例) 管理者ID、アカウント: kenwood, パスワード: adminのとき "##ID00705kenwoodadmin;" P6 (認証結果) 0: 認証失敗 1: 認証成功
	#	#	I	D	P1	P2	P2	P3	P3	P4	
			x		x						
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	#	#	I	D	P6	;					

##KNO	KNS運用 (LANコネクター)										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: OFF 1: ON (LAN) 2: ON (Internet) 9: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	#	#	K	N	0	P1	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	• 設定コマンドは管理者IDでログインしている場合のみ使用可能です。
	#	#	K	N	0	;					
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	#	#	K	N	0	P1	;				

##KN1	管理者ID、パスワード										パラメーター:	
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (現在の管理者IDの文字列長) 01~32 P2 (現在の管理者パスワードの文字列長) 01~32 P3 (新しい管理者IDの文字列長) 01~32 P4 (新しい管理者パスワードの文字列長) 01~32 P5 (現在の管理者ID) 最大32文字 P6 (現在の管理者パスワード) 最大32文字 P7 (新しい管理者ID) 最大32文字 P8 (新しい管理者パスワード) 最大32文字	
	#	#	K	N	1	P1	P1	P2	P2	P3		
	11	12	13	14~			x	x				x
	P3	P4	P4	P5			P6		P7			P8
	x	x										
応答1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10~		
	#	#	K	N	1	P3	P3	P4	P4	P7		
	x	x		x								
応答2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
	#	#	K	N	1	0	;					

• 登録成功は応答1コマンド、登録失敗は応答2コマンドが応答コマンドとして出力されます。
※ 現在の管理者IDと管理者パスワードが無線機で設定されている内容と異なる場合に更新失敗になります。
• 設定コマンドは管理者IDでログインしている場合のみ使用可能です。

PCコマンド集

##KN2	内蔵VoIP機能										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 内蔵VoIP機能 OFF 1: 内蔵VoIP機能 ON 9: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	#	#	K	N	2	P1	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 内蔵VoIP機能 OFF 1: 内蔵VoIP機能 ON 9: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	#	#	K	N	2	;					
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 内蔵VoIP機能 OFF 1: 内蔵VoIP機能 ON 9: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	#	#	K	N	2	P1	;				

• 設定コマンドは管理者IDでログインしている場合のみ使用可能です。

##KN3	VoIPのオーディオ入出力レベル										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: オーディオ入力レベル (VoIP) 1: オーディオ出力レベル (VoIP)
	#	#	K	N	3	P1	P2	P2	P2	;	
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 000~100 999: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	#	#	K	N	3	P1	;				
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P2 000~100 999: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	#	#	K	N	3	P1	P2	P2	P2	;	

• 設定コマンドは管理者IDでログインしている場合のみ使用可能です。

##KN4	VoIP揺らぎ吸収バッファ										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (x20ms) 04: 80 ms 10: 200 ms 25: 500 ms 40: 800 ms 99: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	#	#	K	N	4	P1	P1	;			
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (x20ms) 04: 80 ms 10: 200 ms 25: 500 ms 40: 800 ms 99: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	#	#	K	N	4	;					
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (x20ms) 04: 80 ms 10: 200 ms 25: 500 ms 40: 800 ms 99: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	#	#	K	N	4	P1	P1	;			

• 設定コマンドは管理者IDでログインしている場合のみ使用可能です。

##KN5	リモート操作時のスピーカミュート										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: スピーカミュート OFF 1: スピーカミュート ON 9: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	#	#	K	N	5	P1	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: スピーカミュート OFF 1: スピーカミュート ON 9: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	#	#	K	N	5	;					
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: スピーカミュート OFF 1: スピーカミュート ON 9: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	#	#	K	N	5	P1	;				

• 設定コマンドは管理者IDでログインしている場合のみ使用可能です。

##KN6	KNS運用通信ログ										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 通信ログ OFF 1: 通信ログ ON 9: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	#	#	K	N	6	P1	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 通信ログ OFF 1: 通信ログ ON 9: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	#	#	K	N	6	;					
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 通信ログ OFF 1: 通信ログ ON 9: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	#	#	K	N	6	P1	;				

• 設定コマンドは管理者IDでログインしている場合のみ使用可能です。

PCコマンド集

##KN7	登録ユーザーによる遠隔操作										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 0: 遠隔操作 OFF 1: 遠隔操作 ON 9: 初期値設定 (設定コマンドのみ)
	#	#	K	N	7	P1	;				
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	• 設定コマンドは管理者IDでログインしている場合のみ使用可能です。
	#	#	K	N	7	;					
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	#	#	K	N	7	P1	;				

##KN8	KNSユーザーリストの登録件数読み出し										パラメーター:
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 000~100 • 管理者ID、ユーザーIDいずれでログインしている場合も使用可能です。
	#	#	K	N	8	;					
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	#	#	K	N	8	P1	P1	P1	;		

##KN9	KNSユーザーリストへユーザーの登録										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (リスト表示番号) 000~099 ※ 1件目の追加は000、100件目は099です。 P2 (ユーザーIDの文字列長) 01~32 P3 (パスワードの文字列長) 01~32 P4 (説明の文字列長) 000~128 P5 (ユーザーID) 最大32文字 P6 (パスワード) 最大32文字 P7 (説明) 最大128文字 P8 (送受信可能/受信のみに制限の選択) 0: 送受信可能 1: 受信のみ可能 P9 (有効/一時的に無効の選択) 0: 有効 1: 一時的に無効 • 登録成功は応答1コマンド、登録失敗は応答2コマンドが応答コマンドとして出力されます。 • 設定コマンドは管理者IDでログインしている場合のみ使用可能です。
	#	#	K	N	9	P2	P2	P3	P3	P4	
	11	12	13~		x		x		x	x	
	P4	P4	P5		P6		P7		P8	P9	
	x										
	;										
応答1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	#	#	K	N	9	P1	P1	P1	P2	P2	
	11	12	13	14	15	16~		x		x	
	P3	P3	P4	P4	P4	P5		P6		P7	
	x	x	x	x							
応答2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	#	#	K	N	9	0	;				

PCコマンド集

##KNA	KNSユーザーリストのユーザー情報の編集										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (編集または読み出す番号) 000~099 ※ 1件目の追加は000、100件目は099です。 P2 (ユーザーIDの文字列長) 01~32 P3 (パスワードの文字列長) 01~32 P4 (説明の文字列長) 000~128 P5 (ユーザーID) 最大32文字 P6 (パスワード) 最大32文字 P7 (説明) 最大128文字 P8 (送受信可能/受信のみに制限の選択) 0: 送受信可能 1: 受信のみ可能 P9 (有効/一時的に無効の選択) 0: 有効 1: 一時的に無効 ・ 設定コマンドは管理者IDでログインしている場合のみ使用可能です。
	#	#	K	N	A	P1	P1	P1	P2	P2	
	11	12	13	14	15	16~		x		x	
	P3	P3	P4	P4	P4	P5		P6		P7	
	x	x	x	x							
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (編集または読み出す番号) 000~099 ※ 1件目の追加は000、100件目は099です。 P2 (ユーザーIDの文字列長) 01~32 P3 (パスワードの文字列長) 01~32 P4 (説明の文字列長) 000~128 P5 (ユーザーID) 最大32文字 P6 (パスワード) 最大32文字 P7 (説明) 最大128文字 P8 (送受信可能/受信のみに制限の選択) 0: 送受信可能 1: 受信のみ可能 P9 (有効/一時的に無効の選択) 0: 有効 1: 一時的に無効 ・ 設定コマンドは管理者IDでログインしている場合のみ使用可能です。
	#	#	K	N	A	P1	P1	P1	;		
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (編集または読み出す番号) 000~099 ※ 1件目の追加は000、100件目は099です。 P2 (ユーザーIDの文字列長) 01~32 P3 (パスワードの文字列長) 01~32 P4 (説明の文字列長) 000~128 P5 (ユーザーID) 最大32文字 P6 (パスワード) 最大32文字 P7 (説明) 最大128文字 P8 (送受信可能/受信のみに制限の選択) 0: 送受信可能 1: 受信のみ可能 P9 (有効/一時的に無効の選択) 0: 有効 1: 一時的に無効 ・ 設定コマンドは管理者IDでログインしている場合のみ使用可能です。
	#	#	K	N	A	P1	P1	P1	P2	P2	
	11	12	13	14	15	16~		x		x	
	P3	P3	P4	P4	P4	P5		P6		P7	
	x	x	x	x							
	P7	P8	P9	;							

##KNB	KNSユーザーリストのユーザーの削除										パラメーター:
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 (削除する番号) 000~099 ・ 設定コマンドは管理者IDでログインしている場合のみ使用可能です。
	#	#	K	N	B	P1	P1	P1	;		

##KNC	KNSようこそメッセージ										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7~	x			P1 常にスペース P2 (KNSようこそメッセージ) 最大128文字 ※ P2をブランクにして設定コマンドを送ると設定内容が削除されます。 ・ 管理者ID、ユーザーIDのいずれかでログインしている場合も使用可能です。
	#	#	K	N	C	P1	P2	;			
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 常にスペース P2 (KNSようこそメッセージ) 最大128文字 ※ P2をブランクにして設定コマンドを送ると設定内容が削除されます。 ・ 管理者ID、ユーザーIDのいずれかでログインしている場合も使用可能です。
	#	#	K	N	C	;					
応答	1	2	3	4	5	6	7~	x	10	P1 常にスペース P2 (KNSようこそメッセージ) 最大128文字 ※ P2をブランクにして設定コマンドを送ると設定内容が削除されます。 ・ 管理者ID、ユーザーIDのいずれかでログインしている場合も使用可能です。	
	#	#	K	N	C	P1	P2	;			

##KND	KNS運用セッション時間										パラメーター:
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 00: 1分 01: 2分 02: 3分 03: 5分 04: 10分 05: 15分 06: 20分 07: 30分 08: 40分 09: 50分 10: 60分 11: 90分 12: 120分 13: 無制限 99: 初期値設定 (設定コマンドのみ) ・ 設定コマンドは管理者IDでログインしている場合のみ使用可能です。
	#	#	K	N	D	P1	P1	;			
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 00: 1分 01: 2分 02: 3分 03: 5分 04: 10分 05: 15分 06: 20分 07: 30分 08: 40分 09: 50分 10: 60分 11: 90分 12: 120分 13: 無制限 99: 初期値設定 (設定コマンドのみ) ・ 設定コマンドは管理者IDでログインしている場合のみ使用可能です。
	#	#	K	N	D	;					
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	P1 00: 1分 01: 2分 02: 3分 03: 5分 04: 10分 05: 15分 06: 20分 07: 30分 08: 40分 09: 50分 10: 60分 11: 90分 12: 120分 13: 無制限 99: 初期値設定 (設定コマンドのみ) ・ 設定コマンドは管理者IDでログインしている場合のみ使用可能です。
	#	#	K	N	D	P1	P1	;			

PCコマンド集

##KNE	現在ログインしている管理者／登録ユーザーのパスワード変更										パラメーター: P1 (新しいパスワード) 最大32文字 P2 (結果) 0: NG 1: OK	
設定	1	2	3	4	5	6~	x				# # K N E P1 ;	P1 (新しいパスワード) 最大32文字
	#	#	K	N	E	P1	;					
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	# # K N E P2 ;	P2 (結果) 0: NG 1: OK
	#	#	K	N	E	P2	;					
											• 管理者ID、ユーザーIDのいずれかでログインしている場合も使用可能です。	

##ST	セッション時間の経過										パラメーター: P1 経過時間 (時) P2 経過時間 (分) P3 経過時間 (秒) P4 設定時間 (時) P5 設定時間 (分) P6 設定時間 (秒)	
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	# # S T P1 P1 P2 P2 P3 P3	経過時間 (時) 経過時間 (分) 経過時間 (秒)
	#	#	S	T	P1	P1	P2	P2	P3	P3		
	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
											• 未使用桁は“0”を応答します。	

##TI	内蔵KNSサーバーにログインしたユーザーの送信禁止/許可										パラメーター: P1 0: 送信禁止 1: 送信許可	
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	# # T I P1 ;	0: 送信禁止 1: 送信許可
	#	#	T	I	P1	;						

##UE	内蔵KNSサーバーにログインしたユーザーの有効/無効										パラメーター: P1 0: 無効 1: 有効	
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	# # U E P1 ;	0: 無効 1: 有効
	#	#	U	E	P1	;						

##VP	VoIPによる音声通信										パラメーター: P1 (VoIPによる音声通信状態) 0: 停止 1: 開始 (高音質) 2: 開始 (低音質)	
設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	# # V P P1 ;	0: 停止 1: 開始 (高音質) 2: 開始 (低音質)
	#	#	V	P	P1	;						
読み出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	# # V P ;	• 音声通信開始後に音質を切り替えることはできません。開始後に異なる音質の開始指示をすると、LAN接続が切断されます。
	#	#	V	P	;							
応答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	# # V P P1 ;	
	#	#	V	P	P1	;						

KENWOOD